

クウの Facebook デビューは
この写真

「留守番できないワンコ」
2017年9月3日でした

(母ちゃん注)
ほんの1時間くらいの事
ですけど・



2019年9月4日
母ちゃんの勤める霊園に
同伴出勤！

霊園内の移動は
部長専用車で！



2017年9月 10 日
霊園のお掃除に
全力投球！
ゴールド免許
れすよ〜！



2017年9月10日
ペット担当部長として
納骨堂の点検！

たくさんのペットたちが
優しい飼い主さんと
最後まで過ごせますように
たくさんの命が
幸せでありますように



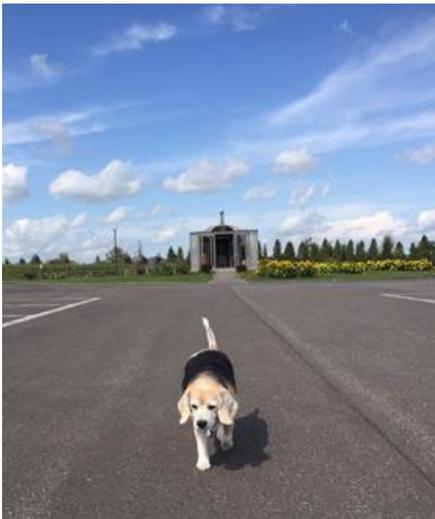
2017年9月16日
トマト大好きなクウが、
墓地裏にこっそりウンチ💩したら、
なんと トマトが芽を出し 実がなりました。
砂利の中から生えた 根性トマトを誰も食べようとしません…



2017年9月19日

台風はなんとか通過した様子ですが
被害があった地方の方々に
お見舞いもうしあげます。
秋の日に 影が長くなって、
「ああ 秋だなあ〜」と

クウは哲学の秋…母ちゃんは 食欲の秋れすね…



2017年9月23日

今日は爽やかな秋空
3日ぶりで霊園を点検
ゴミはおちていない
れすか〜？！

2017年9月21日

 本日は穏やかなお天気れす
今日は母ちゃんがお休み。
母ちゃんもたまには休まないと、
バテテします…
霊園のおじさんたちが？！



2017年9月23日

休み明けの母ちゃんが出勤！

朝から、お客様や問い合わせのお電話で、大忙し。

昼休みに入り口で座り込んでいる母ちゃん発見！



2017年 10 月30日

日曜日、母ちゃんがエゾシカフェスタ in 札幌に参加しました。

このフェスタは「北海道エゾシカ倶楽部」が開催する、エゾシカを大切な資源にし、共生を考えるための取り組みです。

基調講演では、養鹿といって、鹿を家畜化して北海道の新しい産業にするのがいいという提案がありました。鹿の角は漢方では朝鮮人参以上の薬とされているそうですよ！

鹿牧場ができれば、クウは養鹿犬ですね
人間の勝手に生態系が壊され増えすぎた
野生動物。ただ殺されて捨てられていい
命などあるはずないれすよね…

札幌消費者協会 北海道エゾシカ倶楽部
ezoshika-club.net



2017年 10 月3日

クウ地方、11 月の気温でストーブ
つけないと風邪引いちやうれす
そんな中でも、沢山のお客様が。
クウが案内するれすよ♡
このお花の名前は、
「さんざんクろうする」れすよ

🐾「サザンクロスでしょ！」

北オーストラリア原産の常緑樹！」



2017年 10 月4日

本日秋晴れ

「お地蔵さま、何見てるれすか？」
視線の先は、初冠雪の旭岳でした。
心が洗われる景色れす。
特に、母ちゃんは洗ったらいいれすよ



2017年10月5日



今日は、はるばる
釧路と稚内から
お客様♡
そんな遠くから
わざわざ
ありがとう♡



2017年10月10日

毎日、たくさんのお客様に来てもらって嬉しかったれす！でも、ちょっと疲れたので、今日はお休み。ぐっすり寝て起きたら…赤ちゃん産まれてた！！クウの産休？！



2017年10月12日

お客様から、「庭のリンドウだよ」「余市のプルーン、美味しいよ」「実家から送ってきた梨だけど～」などなど、頂き物がいっぱい。母ちゃんはうまいうまい♡と食べてますが、みんなは母ちゃんをもっと太らせてタヌキ汁にしようとするかも…不味いと思いますけど…今日の旭川の最高気温は 10℃！これから鍋の美味しい季節です。



2017年 10 月13日

雪虫が飛びました。冬じまい前に、ブランコに乗ってみました。生まれて一度も病院から出ることなく亡くなった赤ちゃんのお墓が建つ時、母ちゃんが、せめて、ここで遊んでもらいたいと設置し、この夏もたくさんの子供たちが乗ってくれました。



母ちゃんが乗るとブザーがブブブー！！重量オーバーれすよ！！

2017年10月14日

今日はクウにお土産を持ってきて
くださったお客様が二組も♡
感謝感謝れす！



2017年10月15日



今日は外勤！お客様をお迎えに。お客様は、霊園おじさんと母ちゃんといっぱいお話ししました。お客様がおっしゃいました。
「足が悪いから出かけられないし、一人暮らしたから話し相手がないの。
今日はたくさん話してきたし、ワンちゃんとも遊べて嬉しかったわ〜」
寂しさは、おなかがすくのと同じくらい、悲しいこと。
また、おしゃべりに来てくださいね♡

2017年 10月 17日

今日、寄ってくれたお客様は
カイロプラティックの先生。
先生が栽培した見事なぶどうを
いただきました♡

そして、母ちゃんの姿勢が曲がって
いるからと、「えいっ！えいっ！」って
治してくれて、トイレの正しい座り方も
教えてくれました。



先生は「また来て
いいかい？」と。
当然ですよ、いつ
でも来てね♡



そして次回は、母ちゃんの曲がった根性を治してください！

2017年10月18日

霊園で小さい秋、見つけた♡ナナカマド
の葉っぱが真っ赤です。

ナナカマドは旭川の木。赤い実がなります
が、苦くて固くて人間は食べられません。
実は枝についたまま、乾燥と凍結を繰り返
し熟成してから、真冬に鳥さん達がた
べます。

神様から野鳥さんへのプレゼントです♡



旭山動物園で有名になった旭川ですが、西川市長さんが動物保護施設「あにまある」を街の真ん中につくってからは、保護活動が盛んになりワンコの殺処分がなくなりました。ありがとれす！！

ニャンちゃんもみんな助かる日が早くきてほしいれすし、
日本中から動物たちの殺処分がなくなりますように♡

2017年10月19日

雪が降りそうな気温です。夏中、草刈りに活躍した軽トラはスタッドレスタイヤに履き替えました。

クウは、マーライオンのビーグル版？！

小便小僧のビーグル版？！

そろそろ水道の水も落とさないと

凍結が心配な季節になりました！

みなさん、風邪に気をつけるれすよ～♡



2017年10月19日

今期は、収益も記録的でしたが、それ以上に、来て下さったたくさんのお客様から、母ちゃんが本当に多くのことを学ばせてもらったようです。

特に、終活に対する認識と家族観の変化には驚くものがあったようでした。

今や霊園はわびしい秋～🍁、
母ちゃんの風情…



2017年10月23日

Facebook で、日本中にお友達ができる、日本中の天気が気になります！台風の被害はなかったですか？クウ地方は早くも雪…

今日は早仕舞いして、非常用食料用意して、早く寝るれす。



2017年10月24日

FB でお友達になったお二人が、これから入院や手術をされるとお聞きました。少しでも苦痛なく、早く治るように、大日如来様にお参り。クウのお願いれす♡
お願いをきいてくれたら、クウは、お菓子を盗んだり、ゴミ箱をひっくり返したりしません。

2017年10月25日

今日も朝イチで大日如来さまにお参り。

母子ともに元気で双子ちゃんが誕生しますように…

手術が成功しますように…

病気が早く治りますように…

心が元気になりますように…

家族を亡くされた悲しみが癒えまように…

全ての命が幸せでありますように…



2017年10月30日

母ちゃんが带状疱疹寝込んだ日、クウはベッドを覗き込んで

「母ちゃん、晩御飯は？」と聞いてみました。

「無理～！自分で獲ってきて。狩猟犬でしょ！」と言われたので、クウは遅く狩をしたれす！そして見事に鹿肉のジャーキーをゲット♡



2017年11月2日

お客様が、泣いちゃった…

「夫が52歳のとき、2月に肺癌と診断されて6月に亡くなったんです。お葬式で夫の親友に、なぜ知らせてくれなかった?!最後に一目、会いたかったと言われて…」と。それから5年経つ今も、自分を責めていると。まだ若い夫の発病。わずか4カ月で急激な病気の進行。未成年の2人の子供…どれほど辛い思いをしてきたことか。

家族も故人と同じくらい、苦しみ、闘い、傷つき、悲しんでいたのです…知人の葬儀に参列した時は、自分の悲しみだけに負けず、どうか、故人に1番近い家族の悲しみを察してあげてください…

母ちゃんとゆっくり話して、2人で泣いて、お客様は最後、笑顔で帰られました。

来春七回忌に納骨しますとおっしゃって。

2017年11月3日

冬支度作業に忙しいおじさん達に代わって、クウがお花を点検。

一度は雪の下になったのに、
枯れずに咲いていたお花が
ありました。

北オーストラリア原産の
サザンクロス。

逞しさは母ちゃんと同じ！
違うのは、美しいかそうでな
いか…



2017年11月5日

雪の上に☾をつけてみたよ♡

足がしもやけにならないかと心配のコメントをいただきましたが、軽トラの冬タイヤへの交換のとき、クウのに肉球も冬用に交換したから大丈夫ですよ。タイヤメーカーはどこかって？ダンゴツプか、ヨコハバか、ブリジストンがお勧めです！



2017年11月8日

いつものように、クウが新聞を読んでいると、なんとびっくり！！

部長犬クウをはるかにしのぐ人気の駅長犬さんがいました！

もとは保護犬。殺処分されていたかもしれないワンちゃんが、人気の駅長さん！

動物にも沢山の可能性があります。

母ちゃんが参加した先月の「エゾシカフェスタ」で「なんの使命も持たずにこの世に降りてきた命は1つもない」というアイヌの方々の言い伝えを知りました。

刑務所や矯正施設で保護ワンニャンのお世話をさせるととてもいい影響を及ぼすとか、老人施設や病院のセラピー犬など、人の心を癒す力があります。みんなで知恵を出し合い、すべての命に優しい社会を！！



2017年11月10日

今日の賄い飯は、母ちゃんの豚汁とセコマのおにぎり。

毎日のように今年亡くなった妻のお墓まいりに来てくれるおじいちゃんがあります。今日のお参りは一段と寒そう…



「ご飯、ちゃんと食べていますか？よかったら、私の豚汁、どうぞ」と母ちゃん。おじいちゃん、嬉しそうに母ちゃんからタッパを受け取ってお帰りになりましたが…

正露丸も一緒に飲むといいですよ～

2017年11月16日

先日のこと…いつものように墓地で仕事していたクウは、母ちゃんの異変を発見！！母ちゃん、熱出してれす！そして、母ちゃんはしばし休養することになりました…

「ちょっと熱あるだけで、ひーひー言いたくなるのに、大きな病氣と闘ってるひとはどんなに頑張っていることだろう」

母ちゃんはもっと優しい人間になろうと反省したのでした…



2017年11月18日

クオーリーを探せ 🐶

みなさん、見つけられるれすか？

難しいれすよ！

お地藏様の本名は「地藏菩薩」。

地藏は、サンスクリット語でクシティ・ガルバといい、「大地の母胎」つまり、大地

がすべての命を生み出す力を蔵するように、苦悩の人々を無限の慈悲の心で包み込み救う存在だという意味だそうです。

菩薩は修行者のことで、人々を教えに導く信仰の対象です。

ちっこいけど、エライお人形さんです

ちなみに、クウの本名はおフランス語のQueue で、シッポの意味です。



2017年12月12日

大日如来さまにお参りしても、煩惱は捨てがたく…

墓地犬クウ 独り占め♡



2017年12月19日

大雪の中、お参りに来てくれたかわい
いお客様♡

お父さん、お母さんに導かれ、亡くな
ったおばあちゃんに
小さい手を合わせてお参り。
クウの頭も優しくナデナデ。

温かいご家庭で優しい心が育まれた
お子さんの健やかな成長を
おばあちゃんも見守っていますよ。

おばあちゃんは

クウがちゃんとお預かりするので、春になったらまたお参りに来てね！



2017年12月20日

🐶 クウ地方は雪と寒さの毎日れす。
皆さんの所はどうれすか？
しんしんと雪が降る静かな夜は、
あったかいお布団でゆっくりと。
病気や他の事情で、穏やかな夜を
迎えられない人や動物も多いでしょう。
どうぞ、少しでも多くの命が、
穏やかな夜を迎えられますように
みなさん、風邪に気をつけて、
忙しい年末を元気で過ごしてくださいね♡



2017年12月23日

真冬の北海道、
明日はクリスマスイブ。
たくさんの食材がテーブルに並ぶことでしょう🍷🍷🍷🍷
たくさんの命をいただいて命を繋いでいる人間は、
すこしでもたくさんの命が
幸せに生きられる世界に
なるように努力して下さいね



🐶 クリスマスにはクウは何を
食べるかって？
精進料理れすよ！

2017年12月27日

クウ地方は昨日午後から猛吹雪

吹雪の雪はずっしりと重く、除雪するのは重労働。

除雪作業員さんは、冬の間中、風邪も引けない、緊張の夜を過ごしているそうです。

昨日も夜中から徹夜で作業をしていることでしょう。

こんな朝にも朝刊が届いています。達員さんの苦労が偲ばれます。

みなさん、本当にご苦労様♡ありがとうございます♡♡



2018年1月1日

あけましておめでとうれ～す♡成年の今年、クウは13才。

だんだん健康が心配な歳になってきましたが、母ちゃんと一緒にがんばるれすよ。

みなしゃん、今年も

よろしくれーす！

ちなみに母ちゃんは年女！





2018年1月1日

母ちゃんは還暦！赤い帽子を被せて
お祝いしたれ

すよ

(写真右)



上は同じ帽子を被った 20 才の母ちゃん！

ハタチの母ちゃん×3＝現在の母ちゃん！

年月とは恐ろしい…

赤ちゃんのときのクウも初公開れす♡



2018年1月6日

みなさん、楽しいお正月を過ごされたことでしょう。

クウのとも、四世代 9 人＋1匹 が集まって賑やかれた♡

クウもご馳走たべて、めでたしめでたし♡

ところが！！

お兄ちゃんが連れてきたチビちゃんが悪いやつだったれす(⊗)

寝ているクウをリモコンで叩いてくるんですよ！！悪魔か？！

クウはショックで、体調が崩れたれす…体がブルブル震えて熱が出て…

みんなが心配して、一晩中、母ちゃんに看病してもらいました。

さてさて、無事に五日間の滞在が終わり、悪魔ちゃん家族をお見送り。

静かになったリビングで、おばあちゃんに抱っこ♡

赤ちゃんは真っ白な心を持って生まれてくるのですよね。
その心が愛情で満たされた子が優しく育っていくのでしょうか。
悪魔の坊主も、今度会う時はいい子になっているかな？！
全ての子ども達が愛情の中で育てられますように
すべての動物達が愛情の中で暮らせますように



2018年1月23日

みなさん、3週間もご無沙汰いたしました。母ちゃんが肺炎寸前で療養中に、帯状疱疹(予防ワクチンを打ったのに…)、咽頭炎から耳下腺炎、帯状疱疹の悪化と、長い療養生活になってしまいました。

旭川市は、人口 35 万足らずの街ですが、民間総合病院も充実し、医大、厚生病院、日赤、市立病院があります。クウのおうちからは、医大へも厚生病院へも、車で 10 分で行けます。

とても恵まれていることに改めて感謝しました。

2018年1月24日

みなしゃん、お久しぶりでした！

お母ちゃんが寝込んでいる間、ちょこちょこ泊りがけで、居酒屋さんの手伝いに。

クウは楽しく働いていましたが…

たいへんれす！！

皿洗いすぎて肉球がアカギレに！！

母ちゃん、オロナイン！



後日談…

Facebookでクウのアカギレを見て心配した方から、クツが届きました!!

お気持ちがありがたくて

おめめがうるうる…



でも、歩けない
れす!!



2018年1月28日

母ちゃんが、
北海道エゾシカ倶楽部の仲間
にいらていただいて
活動することになりました。

ワンコの飼い主仲間でも、エゾ
シカ肉は、自然の中で育ってい
るため不要な化学物質を口に
していない、鉄分とタンパク質が
豊富で低脂肪の理想的な食材
と知られています。



だからって、クウを鹿さんにしなくても…

2018年2月1日
空振りばかりだったベルが
とうとう100発100中に！

母ちゃん、ごはんれすよ～!!

え?!もう食べたって??
そんなバカな…



2018年2月3日

クウ地方の気温は -18° でした。日本中に寒波が襲来しているとのことで、寒さや雪に慣れていない地方の皆さんは大変でしょう。

被害が最小限でありますように…

それでも、2月に入り、明日は立春。

三寒四温で春に向かう地方が多いのでしょうか。

クウ地方は、寒さは2月が本番です。まだまだがんばらねば！

こんな中でも、野生動物さんたちは元気で頑張っているれすね！！ 厳しい自然の中で生きていく命たちが無事に春を迎えられますように…



2018年2月11日

北陸のみなさんが大変な被害にあっている中、恐縮ですが、

クウ地方ではあちこちで有志が力を合わせ、雪を楽しむイベントを開催しています。

故郷を盛り上げたいと頑張る人たちの気持ちを応援したいです



2018年2月15日

北海道は大雪。
幌加内町では
信号機までが雪で埋もれ
てしまいました

クウは、ピョンチャンオリン
ピック応援で寝不足…
最高峰の技の競い合いと、



互いの健闘を讃え合うアスリートのみなさんの姿には、心打たれます。
まだ若い選手でも、試合後のインタビューでは結果の良し悪しに関わら
ず、1つ1つの質問に、自分の言葉でしっかりと答える姿にも心打たれる
れすね

オリンピックがアスリートファーストで運営されますように、
アスリートのみなさんがケガやアクシデントなく、力を発揮できますように
…と祈りながら、クウは夜のテレビ観戦に向け、朝寝、昼寝れす～



2018年3月6日

「お彼岸に
お墓の前でお参りできますか？」
というお問い合わせが多くなった
のを受け、お墓探しに出発した
れすが…

むり～～

2018年3月10日

国会では「隠蔽」「改ざん」「ごまかし」って騒いでるれすね
クウもやっちまいました！・



クウちゃん、
目が泳いで
ますけど!!

2018年3月15日

春のお彼岸にむけ、今日は、
霊園の除雪をします。

今年は例年よりはるかに
積雪が多く

こりやーたいへんだ！



時には
こんな
大型特殊車輛も
のりこなす



2018年3月21日

本日は快晴！

雪解けも

すこーしピッチが上
がったものの…

まだまだ

こ～んなに！！

この向こうにお墓が
あるんれすよ～

2018年4月3日

母ちゃんのお友達のお父様が亡くなりました。お孫さんは看護師さん。可愛がってくれたおじいちゃんに感謝を込めて、ご遺体のエンジェルケアはそのお孫さんがなされたそうです。

おじいちゃんが望んでいたのもので、北海道新幹線に乗せてあげたいと、姉妹家族でゴールデンウィークに旅行を計画されていました。お父様のご逝去で、迷うお気持ちもあったそうですが、これからも姉妹なかよく過ごすことが親孝行になるということで、ご両親の遺影を持って計画通り、旅行にいくと決めたそうです。



喪服?!
こいつが
悪いれすね!

母ちゃんが着られない
ように、こうしてやるれす!

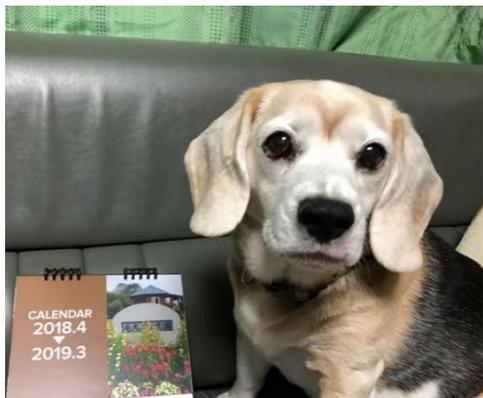
おじいちゃんは、自分だけじゃ申し訳ないから、天国のはおばあちゃんを連れに行ったのかもしれないれす。

どうか、このおじいちゃんのように、家族の愛に包まれて天寿をまっとうされる最期が増えますように!

 クウれすか? もちろん、留守番させた母ちゃんは許しませんよ〜

2018年4月8日

クウの霊園の卓上カレンダーが完成！お客様に超人気れす机の上に置くと、お仕事のはかどるれすよ！



あ、安心して下さい！
母ちゃんは
写ってませんから

2018年4月9日

クウの卓上カレンダーの配達
に出発！

旅をするので、
水戸黄門の助さんになったれ
す！

「あれ?! クウちゃん、帰っ
てたの？」

「カレンダー配達の旅は??」

「途中でお腹すいて…」

「カレンダーとお煎餅を取り替
えて食べちゃったれすよ…」

「あ〜チカレタれす…」





2018年4月12日

今期の開園から1か月。

おばちゃんを亡くしてお墓を建ててくれて、秋遅くまで、毎日のようにお参りに来ていたおじちゃんのこと、冬の間中、気になっていましたが…

亡くなったそうれす

「いい母さんだったよ」と何度もお母ちゃんにお話ししてくれていました。息子さんが兄弟できてくれて、お母ちゃん

から、1人になってからの、おじちゃんの様子を聞いていました。

「やっぱり、寂しかったのでしょうか？札幌に来て一緒に暮らすかい？と声はかけていたのですが…」と息子さん。

おじちゃんは、亡くなったおばちゃんを心から愛していたので、おばちゃんと暮らした家を離れたくなかったと思います。

お墓にも毎日のように来てくれていました。

「母さん、息子が一緒に暮らそうと言ってくれたよ。優しい子に育ててくれてありがとうな。だけど、やっぱり母さんとの暮らしが最高だ。」

そういって、きっとおばちゃんのところに入ったのでしょう。

2018年4月15日

母ちゃんがお出かけ…大嫌いな留守番…

しかし、母ちゃんのお
友達からいただいただ
いた手作りの鹿さんジ
ャーキーがお土産。

鹿さん、

命をありがとう♡

クウの体の一部になっ
て、これからいっしょに
生きていこうね。

母ちゃんと闘うときの
カになってね！

作ってくれたルイちゃんママにもありがとう！



2018年4月16日



母ちゃんは終活のお勉強で、日本人の死因につ
いて調べました。

全体では、癌、心疾患、肺炎、血管疾患が上
位ですが、20～39 才の死因第1位は自殺だそ
うです。若者の死因の 1 位が事故や病気でなく、
自殺…。40 才～49 才も 2 位は自殺…平和で
豊かな国なはずが、どうして自殺が多いのでし
ょう。クウもかなしくなつたれす

2018年4月18日

雪解けとともに始動れす！
凍結予防に落としていた水を出し、
ゴミ箱を設置します
クウは軽トラで作業の指揮監督！
母ちゃんは冬の怠け癖が取れず、
事務所でお煎餅食べてます
また、たくさんのお客様がお参りに
みえるのが、楽しみれすう！



クロッカスが咲きました
雪の下でじーっとじーっと待って待って6
ヶ月！
いじらしいれすね
さあ、これから冬囲いを外します！

2018年5月2日

クウ地方、ようやく桜開花れす
おうちの近所に、母ちゃんがとても珍しい桜の木を発見👁👁
太い幹の根元の方から細い枝が出て、そこにも桜がさいていたれす。
だから、クウもまちかでお花見ができちゃいました！
明後日からの4連休はあまりお天気が良くない予報…
みなさんにとって、楽しいゴールデンウィークになりますように！



2018年5月5日

2017年9月のこと。クウとお友達になろうとしたお客様のプードルちゃん。ワンコが苦手なクウは、プーちゃんがあっち向いた隙にパンチして、机の下に逃げました。





あのワンちゃんが…今日きたときは、抱っこされたままで…脚が動かなくなったそうれす。病院いったら、脳に腫瘍ができたのかもと…
去年、仲良ししないでごめんなさい。意地悪してごめんなさい。
どうか、どうか、また、元気にあるけるようになってください！

2018年5月7日

連休中、参拝のお客様やFacebookを読んでくださっている方々が、たくさん、クウに会いに来てくれました。お土産いっぱい感謝です。

昨日は…クウがパンチしちゃったプードルのおじさんの納骨れした…

70代で寿陵という生前のお墓を建ててくれたおじさん。「娘2人だし母さんに気苦労かけたくないからな」と、おっしゃって。

その数年後、改まって母ちゃんに話があるとおっしゃって来園。

「癌が見つかった」……………「ここは美味いから、あんたに食べさせてあげたくて」と下さったお土産のシュークリームを、母ちゃんは、食べたかどうか覚えていません。

でもおじさんは治療を頑張り、3年の月日が流れました。

その間、お墓参りに来てくださる度に、母ちゃんとお話していました。
「またいらしてくださいね！あ、お骨はダメだよ！まだ引き受けないから！」と、母ちゃんが辛口きくと、おじしゃんは、ウンウンとうなずいて笑っていました。現役時代は、超大型車輛の運転手さん。
おじしゃん、お疲れさまでした。



病気と闘うプードルちゃんとおばちゃんを、
お空から守ってあげね♡

霊園は今日が桜の満開れす

2019年5月12日

母ちゃんは事務所。今日はちょっと個性的なお客様が来ました。
先日、納骨された男性を探してお参りに来たのです。お父さんの友人だったそうです。

「あのおじさんも、うちの親父も、同じ穴のムジナだから」

「ムジナ?! おじさんとお父さんに叱られますよ」

「いや。ほんとだ。ヤクザだったんだ」

母ちゃんは、そう聞いて、あの男性の納骨の様子を思い出し、納得するものがありました。その人は母ちゃんに気を許せたのか、生い立ちから話してくれました。

「小学校5年の時、親父がお袋つれて関西の本部いっちゃって」



「えー？！ご飯とかはどうしたの？」

「金もないも。かつぱらうしかないしょ！」

「え———！！！」

警察と児童相談所と家を回っていたような暮らしだったこと、お父さんは何ヶ月かごとに帰ってきて、お金を置いてまた出かけてしまうこと、三年経ってお母さんが帰ってきたこと…

それでも、カタギの職業についてからはバリ

バリ働いたとのこと。

その後、児童相談所にご飯を食べさせてもらってきたから、今度は自分が兒相の子にご飯を食べさせてやりたいと、里親をしたそうです。

ご自分にも2人の娘さんがいる中、短期も含めると数えきれないほどの子どもを預かったそうで、5年預かった子を手放すときは、さすがに別れがつらかったと言っていました。

そのおじさんの口からでてくるお話は、母ちゃんにとって別世界のようなことばかり。お父さんの友人のお墓を探してまでお参りする心の持ち主です。最後には、先日亡くなったばかりというお父さんの供養のことを、母ちゃんにあれこれ相談していました。

「親によくしてもらわなかった子ほど、なぜか、親を慕うんだよな…

これから大阪帰る。来てよかったワ。また来る！」

そう言って男性は帰って行きました。

かあちゃんは日々、お客様からたくさんのことを学んでいます。

2018年5月13日

クウはおじいちゃん、おばあちゃんと、お墓参りの後に旭山公園でお花見。
この公園の中に、旭山動物園があります。

1967年に「日本最北の動物園」として誕生して人気を集めたのも
つかの間、入場者数の激減とエキノコックスが発生したりで、一時は、
閉園の危機に陥りました。1997
年から、飼育員さん達の努力と
命への熱い思いで、「動展示」を
重視する動物園に変貌を遂げ、
「奇跡の動物園」として、
日本中から注目されました。
「伝えるのは、命」
是非一度おいで下さい！



2018年5月17日

おじさんが蒔いた
種が芽を出しまし
た。

そろそろ花苗を花
壇に植える準備を
開始します。

クウはしっかり現場
監督！





2018年5月20日

今日のご契約のお客様が、Facebook でクウをご存知で、会いたいと言ったので、休犬日返上して出勤。おやつ頂いちゃいました！

そしてご案内！お父様が亡くなられたそうれす。

ご両親は離婚されたそうで、ご契約者様である娘さんとお父様が接した時間は、決して長くなかったことと推察されます。でも、やはり最後は娘の手でしっかりと供養してあげたいとお思いになられたのです。将来的にはお母様も一緒にお二人で、ということになったそうです。夫婦は紙切れ一枚でアカの他人にもどります。でも、親として祖父母としてなら、子や孫の幸せを願うことでは、なんのためらいもなく心合わせられます。

お父様は娘さん家族が用意してくれたお墓から、娘さん家族の幸せを見守り続けてくれるはず

ご家族の皆様のお幸せをクウもお祈りしているれすよ♡

2018年5月26日
母ちゃんのお誕生日には、お返事できないほどのたくさんのお祝いのメッセージをいただきまして、愚母にかわり、クウより、深く御礼申し上げます！
年を重ねてもなかなか賢くならない母



ちゃんれすが、クウは広くあたたかな心で、これからも母ちゃんを育て参りますので、今後とも、どーか、どーか、よろしく願い申し上げます。本日は、皆様のメッセージへの感謝を込めて、汚い母ちゃんではなく、クウのお庭のお花の映像をお送りいたします♡

2018年5月27日

昨日のこと。

いつものように母ちゃんと出勤する気で玄関を出たクウれすが…

なんか嫌な予感「んー?!これはもしかしてお留守番では?!」
超不機嫌!!



「あのね、クウちゃん、留守番って大騒ぎするけど、おうちには、おじいちゃんもおばあちゃんもいるからね…」

2018年 6月 11日
霊園のおじさんが、去年の花の種から育てた苗。開花時期を迎えました。通路に並べるれすよ～もともと、お墓にお花を供えるのは、「厳しい自然環境の中で、芽を出し、葉



をつけ、花を咲かせる植物の姿が、厳しい修行に耐える仏教の教えに重なるから」とか、「昔、土葬だった頃、ご遺体を獣から守るため毒物や薬効成分がある草花と共に埋めたから」などの説があるそうれす。

クウ地方、30℃超えて日本で1番暑い日になったと思えば、昨日の朝は6℃！確かに、気温差の激しさに、お花も大変です！

2018年 6月 12日

近年、親の家を継ぐことが少なくなり、親なき実家を解体することが多いです。その時、庭も潰して更地にします。これは土と共に捨てられたお花です。霊園で咲きました。



2018年 6 月 20 日

賢いクウのことわざシリーズ 第1弾
「頭隠して尻隠さず」

悪いことや欠点などの一部を隠していても、全ては隠しきれず、外に現れていることの例え。

クウの場合、かわいい顔を隠しても、お尻だけでも十分、愛らしさが現れているね

2018年 6 月 21 日

「かわいい子には旅をさせよ」

子供が本当にかわいいのなら、親元において甘やかさずに、世の中に出して苦労させた方がしっかりした人間に育つという教え。ただし、母ちゃんより世間の人々のほうが優しくなると、余計、ダメワンコになる可能性も…



2018年 6 月 22 日

「案ずるより産むがやすし」
始める前は何かと心配するが、やってみれば、案外、上手く行くものということ。





6月23日

「似て非なるもの」

かわいらしさは同じで
すけど

2018年6月28日

母ちゃんが「ペット信託®」
のセミナーに参加。契約を
結んでおけば飼い主亡き
後のペットの心配は全くな
くなる万全の保証です。

セミナーの講師、行政書
士の今井さんご自身が、
保護ニャンコを可愛がって
いらして、難病の猫ちゃん
も看取った経験を多数お
持ちです。



動物への愛情に裏打ちされた活動だから信頼できると感じました。

オフィス プライム・アイ 北海道札幌市清田区平岡 3-2-12-3

2018年 7月 4日

6月に、二世帯同居していたおじいちゃんとおばあちゃんが、サ高住に引っ越しました。3部屋あるマンションですから、それなりの荷物を持ち込みましたが…残していった荷物の多さに愕然！！



すでに母ちゃんが終活をする時期なのに、親の終活がまだでした…

2018年6月18日

お地蔵様がピンクのマントを着ていました。娘さんからの亡くなったお父様へ、父の日のプレゼントでした。



2018年 7月 14日

蒸し暑さにも負けず、
健気に接客してるれすよ！

2018年7月20日

母ちゃんが月イチで北海道新聞に連載中の終活コラム。今月は・・・



心臓発作で急死された三十才の息子さんのためにご両親がお墓を建てました。ご両親の悲しみの深さは想像に余りあるものでした。「朝、元気で見送った息子が昼に亡くなりましたと言われて、納得できるわけがないでしょう」というお父様の言葉が、胸に突き刺さります。お墓は完成しましたが、納骨する気にはなれないとも仰いました。

後日、数人の若者がそのお墓を訪ねて来ました。東京から旭川空港に着きお墓に直行したそうです。お墓参りしてから札幌ドームでプロ野球の応援し、明朝、東京に帰るとのこと。よほど仲良くされていたお友達なのだろうと想いました。その後もそのチームの試合がある日に、若者達の参拝がありました。お話を伺い、亡くなった青年はプロ野球チームの北海道ファンクラブのリーダー的存在だったこと、青年の訃報を知った本拠地埼玉のファンクラブの仲間がお参りに来てくれているという事情が

わかりました。 急ぎご両親に連絡したところ、是非、お名前と連絡先を聞いて欲しいと言われました。後日には、連絡を受けてすぐ霊園に来た両親と、青年達が会えたこともありました。

そんな何年かがあり、私は、故人の人生は長くはなかつたけれど、仲間に慕われて楽しく充実した人生だった事を強く感じました。ご両親も同じだったのかもしれませんが。徐々にお元気を取り戻されていきました。

有名芸能人のお墓がファンの聖地になっていることがあります。青山墓地を見学したとき、「お名刺入れ」という小さな石箱が備えられているのを見ました。

ご自宅の仏壇や納骨堂がクローズなのに対し、お墓はオープンです。故人を慕う方がどなたでもお参りができるのが、お墓の特長です。この青年のケースが語るように、墓は、ご家族が故人の人生に深く触れる機会をもたらすことができます。



掲載された翌日、
ご両親がおいでになりました。
「ありがとうございます」
と涙ぐむお母さんに、
母ちゃんの目にも涙・・・

2018年 7月 23日

母ちゃんが忘れ物！

なにをって？…ケータイれす

どこって？…霊園れす
今、何時って？
…夜の9時過ぎれす
え？！取りに行くれすか？！え
——？！一緒に行こうっ
て？！



2018年7月27日

母ちゃん、4週間の研修中。

通学路、旧北海道庁赤レンガ庁舎前の様子れす。



池にはのんびりと鴨さんたち。涼し気です。

2018年 8月 9日

今年のお盆の入り日は 13 日、中日は 14 日、送り日は 16 日です！
土日あたりから、離れて住む娘さん家族、息子さん家族が帰省されて、お参りにいらつしゃるようになりました。わざわざ母ちゃんにご挨拶に寄ってくれます。ありがたいありがたい。

これからますます、お参りのお客様が増えるので、紙コップ、缶飲料、飴、トイレトペーパー、ゴミ袋…などなど消耗品の点検れす。

足りないものをメモして、防犯部長を運転手に買い出しにいきまーす

レジのおばちゃん、クウは商品じゃないれすよ！バーコードないれすから！



2018年8月12日

北海道、あつついど！そんな中でも、クウはおじさんをひきつれ、お墓のみまわりに余念がありません。

残土置き場は雑草が、暑さにも負けず生き生きと繁っています。

クウ地方、冬は-20℃、夏は30℃ごえで寒暖差の激しい気候。

クウはエアコンきいたお部屋で涼んだりあったまったりできますが、野生動物さん、植物さんたちは、そんな気候のもとで生きてるれすね！

尊敬！！さて、事務所かえって、水分補給するれすよ～



フキがおいしげって
いるれすよ

2018年 8月 10日

お盆がきました。親や祖父母の
元に集まり、お墓や仏壇に手を
合わせます。それは…人間に
しかできないことです。

クウは小さい時に急に、お母さ
んや兄弟から引き離され、お店のケースに入れられました。怖くて悲しく
て、隅っこで震えていたとき、お兄ちゃんに見つけられて、この家に来た
のです。

クウには、自分の生き方を選ぶことは何一つ、できません。

そのクウも、ドッグフードや美味しいご飯を食べていて、つまり、牛さん、
豚さん、鶏さんなど、たくさんの命をいただいているのです。

しかもそのみんなは、殺されるために生まれてきた命なのです。

自分の命を全うすることさえできない、無数の命の犠牲で生きていると
思うと…生かされている命を持つ者は、

優しくあろう♡助け合おう♡分け合おう♡地球を大切にしよう♡



でも……お煎餅はゆずれないれすよ！！



2018年 8月 21日



大忙しのお盆を乗り切り、母ちゃんが、再び札幌の研修会へ。講座では、H He Li Be …と懐かしの元素記号に、涼くなった北海道なのに、脳みそが熱中症になっている様子。

人間が地球に溢れさせた化学物質の悪影響で、動物たちのオスがメスになったり、人

間では男が生まれにくくなってきたり、科学者にとってはとても心配な事態がジワジワおきているそうれす。

天候異変に大騒ぎして、その度に多くの被害を被っているのに、自分たちの生活が、自然環境や動植物の生態系にどんな影響を与えているかに、無関心すぎるのではないれしよか…

さてクウは、鬼のいぬまに、美瑛にドライブ～！キレイキレイ♥♥

2018年 9 月 5 日

台風が各地に被害およぼしています。皆さんの街は大丈夫ですか？
そんな中、昨日、Facebook のお友達が、北海道ゴルフ旅行の途中でク

ウに会いにきてくれたれす～
おみやげをいっぱーい
いただきました♡

「わんべえ」は北海道では見
たことなかったれす！

これは全部、クウのれす！

え？！母ちゃんも欲しい？

じゃあ、わけてあげますよ。

袋だけ☺

初めてお会いした Facebook

お友達ご夫妻は、仲睦まじく、

北海道でのゴルフと、ご朱印集めをたのしんでいらっしやいました。

台風の影響が心配れす、どうぞ楽しい旅を続けてください。

2018年 9 月 5 日

心臓発作で急死された、28才の北海道ライオンズファンクラブのリーダ
ー的存在だった青年のお墓。北海道で西武の試合があるたびに、本拠
地埼玉からファンクラブ仲間たちが、お参りに来てくださっています

昨日、今日は、旭川スタルヒン球場で、日本ハムファイターズ vs 西武
ライオンズ の連戦です。今年も来てくれるかな？！

今年は、もう、ここまでは来ないかな？！クウもドキドキ♡

そして、今日のお昼前に、3人の青年達がきてくれました！



母ちゃんがお墓に案内しているとき、1人の青年が言いました。
「このお墓のことが新聞に載ったそうなんです。本拠地のファンクラブ仲間うちで、SNS でかなり拡散しているんです！」
「えーっ、えーっ！！それを書いたのは私です！」
「本当ですか！！」
みんなで盛り上がり、お墓の前で記念撮影しました。
両親に連絡すると、ぜひ会いたいとのこと。お家まで送ると、お母様がいつもの優しい優しい笑顔で、出迎えてくれました。



夜、旭川は熱く燃えました。テレビに映るライオンズの応援席に、お参りに来てくれたあの3人の青年がいるのでしょう。



そしてきっと、かの青年も！
スタルヒン球場の夜空に打ち上がった花火がとても美しかったれす
ライオンズ、まけちゃったけど北海道なのでゆるしてね～

2018年 9月 7日

北海道が初めて震度7の地震に襲われてから、まる一昼夜がたちました。日本中のお友達から、安否をご心配してのたくさんの方のメールをいただきました。本当に本当に、ありがとうございます。

地震がない旭川でも震度4で、かなり揺れましたが、恥ずかしながらクウは爆睡れました。

ニュース映像で、土砂に埋まった実家に向けて「お父さーん、お母さーん、おばあちゃーん！！」と悲痛な呼びかけをしている男性の姿が…

1番被害が酷いのは震源間近の小さな町と集落です。その被害の大きさには胸が潰れそうになります。でも、もし、停電が全道に広がっていなかったら、小さな町の被災は、もしかして、もっと遠くの災難だと感じたかもしれません。

会ったことがない人の苦しみに心を寄せることは難しい。

苦しみに襲われた人々が元気を取り戻すまで、関心を寄せ続けることは、もっと難しい。今の日本、いつどこでなにが起きるかわからない…すべての被災地において…どうか、被害が広がりにませんように…どうか、被害が早く収まりますように…

どうか、被災された皆さんが、お元になりますように…

ご心配、ありがとうございました。クウは元気です♡



2018年 9 月 12 日

今朝、クウの出勤を、キタキツネさん
がお出迎えてくれました！

春に赤ちゃんキツネ2匹を連れていた、
お母さんキツネです。時々、子ぎつね
を連れて、霊園を散歩していました。
草にまみれて、お母さんを見失った赤
ちゃんきつねが「きーっ！きーっ！！」
とすごい声で鳴くと、すぐそばに駆けつ
けていました。



すこし大きくなって、こぎつねになると、たいへんです

子供だけで出てきて、お墓の赤土をほじくり返して遊んだり、うんちしたり
するのです。そのお墓の持ち主が見たら、とてもいやな気持ちになるでし
ょうし、エキノコックスも心配です。

おじさんたちが、毎朝、せっせとうんちそうじと消毒をしました。

でも、キツネがこういう行動をとるのは、独り立ち間近のほんの1～2カ月

のことなのです。キツネさんたちは、
ここの先住民。林を切り開いて霊
園にして、住処を奪ったのはこちら
かもしれません。



お母さんキツネさーん、子供達は

無事に巣立ったれすか？

子育てお疲れ様でした♡

実りの秋です。いまのうちいっぱい食べて、冬に備えてください♡



2018年9月14日

秋のお彼岸が近づきました！

秋分の日、春分の日と同じく、「国民の祝日に関する法律」

によって定められた祝日で、春分の日、「自然を称え、生物を慈しむ」、

秋分の日「祖先を敬い亡くなった人を偲ぶ」日です。

今日もよく働くおじさんに、クウ

からのご褒美配達れすよ〜。え?!クウが貰ってるように見える?!

それはあなたの心が汚れているからです!!

2018年9月15日

ドッグラン付きレストランへ。クウはワンコが大っ嫌いなので、ガラス越しに見学。

「お〜犬がおるわ〜」



2018年 9月 18日
クウのことわざシリーズ
「船頭多くして、船、山に
登る」

指示する人が多いと、方
針が定まらず、物事がとん
でもない方向に進むという
こと



2018年 9月 19日

棚から牡丹餅

もしくは...

盗人にも三分の理



2018年 9 月 26 日

動物愛護週間編

みなさん、「アニマルウェルフェア」という考えはご存知ですか？

「快適性に配慮した家畜の飼養管理」のことで、やさしくいうと「経済動物であっても、誕生から死を迎える瞬間まで、できる限りストレスを少なくし、行動要求が満たされた健康的な飼育方法を目指しましょう」という考えです。

例えば🐔ニワトリ…アイパッド 1 枚分の広さのケージに入れられた瞬間から、自由に歩くことも出来ず、ただただエサを食べ卵を産む…
産めなくなったら殺される…

乳牛🐄も同じ…人工授精で子牛を産み、子牛にオッパイを飲ませてやることも出来ずに、子牛も乳も人間に取り上げられる…

そんな高ストレスの環境で生産した卵や牛乳が、本当に良い成分になっているのでしょうか。本来の美味しさがあるのでしょうか。

子供の虐待が社会問題化しています。母性は生まれながらにして多くの生物に備わった能力だったはずです。小さいものを愛おしいと思う心は誰にでも持ち合わせているものだったはずです。

それが、ましてや自分の子供ならば…人の心が壊れてきているとしたら、食べ物の影響がないとは思えないのです。

ストレスフルの動物たちの卵は、乳は、肉はやっぱりストレスフルだと思うのです。それを食べて作られた体はやっぱりストレスフルになるのでは。命あるもののほとんど全ては消費者です。食物連鎖のなかでしか生きられず、誰かの命をいただいています。

そして、命は必ず限りがあります。

長生きすることだけが幸せではないことも、確かです。

命はそれぞれの使命を持って、生まれてきます。他の命を活かすために生まれてきた命があることは仕方のないことでしょう。

命の軽重でも、長短でもない。だけど！命あるものは、生まれてから死の瞬間まで、すこしでもストレスのない生を送る権利があると思います。

そういう命は食べ物になっても、次の命を幸せにする力があると思います。栄養だけの食物連鎖ではないですよ！

きっと心も食物連鎖！！

全ての命に敬意を持つこと。死の瞬間までよりよい環境を守ること。

いただく命に感謝すること。

そうすることは、人の幸せにつながることだとクウは思うのれす。

鳥インフルエンザ、SARS、新型コロナ…いつもあの大きな国から……

野生動物を介したウイルスが人類に襲いかかってくるのは



動物たちの悲しみのメッセージかもしれないと思えるのです……



2018年 10月 11日

先日の終活相談のお客様。背が高い、優しそうな次男さんを伴った76才の女性でした。夫を亡くしてから35年、3人の男の子を1人で育て上げたそうです

「私が行きている間は、この子と自宅で暮らしたい。その後の施設は決めたいけれど…」

お母さんの表情が曇ります。既婚の長男夫婦との関係がうまくいかない様子です。次男に後見人をつけるなど、自分亡き後の手続きが必要だとはわかるが、長男との関係がますます難しくなる。頼っても、頼らなくても、揉めそうだ…

傍で穏やかなる表情で座っている次男さんと涙ぐむ 76 才のお母さん…

「子は宝」とも「無い子に泣かない」とも言われます。

女手ひとつで頑張ってきたお母さんが、どうか安心して晩年を過ごせますように…

次男さんの人生が穏やかなものでありますように…

これから、いろいろな事例を勉強しながら、1番安心できる方法を一緒に考えていきましょうと、お約束しました。



クウは、母ちゃん亡き後に備え、自分で蓄えるれす！

2018年 10月 12日

終活のご相談にお見えになったのは 70 才の女性です。

「兄と相談し、娘の私が母を同じマンションに呼び寄せ、それなりに面倒を見てきて 10 年。歩行が困難になり、施設に入所しましたが、足以外は元気で、とりたてて心配はないのです」と。ところが、ご相談者様である娘さんが、最近、ご友人が次々と亡くなられ、自分のことも不安になったそうです。

母を故郷から呼び寄せた時、それなりに母の終活をしたつもりだったが、10 年たつて事情も変わってきた。そもそも、自分が元気であることを前提に考えていたが、今はそんな自信がない。兄も現役ではない。私に万が一のことがあった場合に備えて、母の終活をやり直したいとのことでした。

女性の寿命が 100 才になろうとしています。その時、頼りの息子も娘も 70 過ぎていて不思議ではないのです。

ため息をつきながら、たくさんお話しされ、「心がすこし軽くなりました」とおっしゃって、帰っていかれました。70 才過ぎてても「娘」の役割がある。妻で、母で、祖母なのに、まだまだ「娘」でもある。

ご相談者さんの心配は、84 才の両親をかかえている私にとっても他人ごとではありません

👩 母ちゃんは長生きしそうれすけど
でも、母ちゃんを看取るまで、クウは元気なくちゃならないれす♡
だから、健康には気を使われすよ♡



2018年 10月 15日

今日は納骨があります。朝から、霊園の隅々まで厳しくチェック👁️👁️
ゴミ一つ、落ち葉一つも許しませんよ～



納骨には、息子さん、娘さん、お孫さんご夫妻が参列。

「オヤジはおふくろに、横暴だったねー」

「お母さんに、離婚したらいいよ、っていったことあるのよ」

と、ご兄妹で思い出話ですが、どうも、お父さんの分が悪そうです。

90歳を超えたお父様は、昭和の初めの生まれです。亭主関白が珍しくない時代だったのでしょ。

お父様、お子さん達の話が聴こえていたかな？！

お墓の中で、お母様に謝罪と感謝の言葉を伝えて下さいね！

息子さん、娘さんは仲がよくお母様を大切にされています。あんしんしてくださいね。



2018年 10月 18日

霊園に緊急事態発生!!

こんな時は110番でしょうか? 自衛隊さんに緊急出動要請でしょうか?



心臓が止まるかと思ったれす〜

2018年 10月 25日



落ち葉一つないようにしっかり監督していたクウ部長でしたが、昨日の強風には歯が立たず、霊園は落ち葉の海に…



2018年11月2日

防犯部長のお母さんが亡くなってから、まもなく1年です。先日、納骨を終えた防犯部長。日に日に募る寒さに、気が気では無い様子。

そして、とうとう一昨日、母ちゃんにこう言いました。

「おふくろのお地蔵さんに、ジャンパー作ってくれないか？」

えーっ、えーっ、えー——！！
泥棒捕まえたら、過剰防衛で、泥棒は救急車で、自分はパトカーに乗せられてしまう、やんちゃオヤジの防犯部長が？！
そんな心配していたの？！…



母ちゃんとピンクのジャンパー

を買ってきたれすよ！おばあちゃんにぴったりれす♡クウ地方、まもなく雪の季節を迎えます。

2018年11月4日

合祀墓のガラスを雪害から守るため、冬囲いします。



2018年11月7日

断捨離がブームになって久しく、すてに多くの人に知られ、また、実践されています。

モノが入ってくるのを断つ❗

不要なモノを捨てる❗

モノへの執着から離れる❗

🐶しかーし❗必要なものは必要なんれす。いざというときの備え。

また、あると思うだけで満たされる心♥

おせんべおせんべ！もう少し

で、めっかつちやうところれした！！

母ちゃん、痩せたら着る服は無駄れすよ。それは断捨離しましょう。



2018年11月14日

クウ地方、朝の気

温が0度を

下回りました



かわいいお孫さん

が来て、おじいちゃんの納骨。

張り切ってご案内しておりましたが…アスファルトが冷たかったせいか
(🐶母ちゃん注～多分、太りぎです)足を痛めてしまったれす

これは、労災れす。
お見舞い、お願い
するれすよ～



2018年11月20日
クウ地方、とうとう雪が降
りました

人口 34 万の旭川市で、
一冬の除排雪の費用は
30 億円近くにもなるそう
です。



🐶夏の暑さや冬の雪を、
保存しておく方法は無いらすか？
ないれすよね…わんべいでさえ、保存で
きないんれすからね
ああ、今期も、幾つのおやつが地面に消
えていったことか…



2018年11月21日

クウに新たな業務委託がありました👍

新しい埋葬、供養の形のプロデュース。今日は現場を視察！！

ほーほー、ステキなログハウスれすね🍀

ロケーションも抜群🍀

では、クウが新たな事業計画を立て、ご提案するれす。



11月24日

とうとう雪。

今日は、事務所で
災害時に備え、
食糧の備蓄！

2018年 12月 8日

皆さま、ご無沙汰でした！

母ちゃんと同じで、クウも気持ちは若いのですが…

母ちゃんと同じで、クウも寄る年波に勝てず…不調に苦しんでおります

体調が悪くなると、健康だったことがどれほど幸せだったかに気づきます。

年をとると、若いときがどれほど
快適であったかに気づきます。

病気や加齢を経験し、
クウの心にはますます深い慈
悲と慈しみがふえるれす♡
母ちゃん、見習いなさい。

インフルエンザが流行の兆しと
か。みなさん、ご自愛くださいね



2019年12月20日、年末がやってきました。大掃除の時期ですね。

今月の母ちゃんの終活セミナーコラムは、大掃除と終活年賀状。

クウも断捨離したいれす！ 不要なものは啜えたくないのに…

猟犬の悲しき習性れす…来年こそ母ちゃんを断捨離してやる～



コラムには「知人のお母様」の文章を掲載させていただきましたが、その知人とは、旭川市在住の北海道尊厳死協会の理事のえみこさん。尊敬する先輩です♡

知人がお母さまのことをつづった文章です。「母はつくなる前、向こうでお父さんに会えるのがとても楽しみと言っていました。お父さんに『きれいに片づけてきたか』と言われたら困るからと、持ち物はタンスの引き出し一つにまとめてありました。生真面目に障子の張り替えまでして逝ったのには驚かされました」最後の持ち物を「家族への愛として人生を終えた姿は、見事としか言いようがありません。

えみこさんが、ご自身が撮った写真に言葉を添えた作品で「えみおばあちゃんのフォトポエム展」を開催されました。

勝手に選んだ私のイチオシは…

「持って逝けるのは 心だけ」
持って逝けるのは心だけだし、
置いていけるのは愛だけですわ



2019年1月21日

昨年末頃からあちこち体調不良が起きるようになり、病院通いが続いています。年明け早々、免疫不全の天疱瘡ではないかと診断され、ただ今、療養生活をしています。

春がきたら 14 才。人間に換算すると、いつのまにか母ちゃんを追い越してしまわれす。おばあちゃんも肺炎で緊急入院となり、ペットと両親の高齢化で振り回されている母ちゃんです。



しかし、年をとるのは悪いことばかりでないようです。

今年のお正月も押しかけてきた孫という名の悪魔は、去年と違い、優しくクウをナデナデしたりおやつをくれるように、成長していました。



2019年2月21日

免疫不全で長期病欠のクウですが、霊園のお客様からお電話がありました。

「まだ…お墓のお参りは無理ですよね…」

お客様のご要望とあらば、なんとかせねばなりません！！クウが参拝の道をおつけしましょう♡



…………あの、やっぱり3月のお彼岸すぎに、出直していましてほしい根性がない？！今、インターフェロンのおかげで回復中れすからね。元気になったら、ブルドーザー並みに除雪してあげるれすよ道北の皆さん、お墓参りは春のお彼岸までお待ちください♡

2019年3月7日

母ちゃんがお買い物へ。帰ったら、あら、びっくり！化粧品が床に散らばっているではありませんか！これはいったい、どうしたことでしょう?!

母ちゃん、悪いヤツがいるもんれすね！病気でなきや、クウがとっちめてやったところれすが…療養中で残念れす



2019年3月16日

クウ地方、まだまだ残雪あり。

春は足踏みです。

本州のお友達の投稿を見ると、すっかり春ですね。

これだけ、気候が違うのだから、歩道も公園も、本州と同じではおかしい。

全てのものが、半年間、雪の下なのですから、雪国仕様で考えるべきでは…と、道路、公園などの公共工事のありかたにまで思いを巡らすクウななれした！



2019年3月16日

この度、私、墓地犬クウは、霊園部長を退職いたしました。

霊園のお客様、Facebookのお友達に、かわいかっていただきましたことに、心からお礼申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝をお祈りし、お別れのご挨拶といたします。

追伸…退職金としていただいたおせんべいを食べ終わり次第、新しい職場に向かいます。



新クウハウス

2019年3月30日

ペット霊園担当部長を退職し、新会社の社長就任予定のクウれすが、病状は一進一退…クウが唯一、マウンティングできる相手、ゴリちゃんが、つきっきりで看病してくれています。

新年度初日まであと2日！！

あと2日で
元気になってみせる♪
だって、だって、
クウがいなきや、
母ちゃんはちゃんと
お仕事が
できないれすからね♡



2019年4月3日

なんとか、もう一度、クウを元気にしたいと連日、闘っています。
朝から夕方まで、2人で犬用ベッドに入り点滴。

夜もうとうとしながらの
看病です。

でも、自分の体に起きたことを、静かに受け
入れ過ごすクウの姿に、
心打たれ、とにかく寄り
添っていたいと思っています。



病室の窓の外には
保護されて
治療中のカモさん

2019年4月4日

クウにたくさんのエールをいただきまして、本当にありがとうございます♡

朝から夕方は病院で付き添い、夜は家で添い寝の看護を続けています。

高齢のご夫婦が、大きなワンちゃんを抱き抱えて受診する姿も。



飼い主とペットの高齢化や、医療を受けられることの格差(ペットに限らず人間にも当てはまると思います)など、色々、考えさせられます。

動物が、小さな体で、自分の体におきた変化をありのままに受け入れ耐えて闘う姿に心打たれ…

今後、父母が入院した時、私はこまでつきっきりで看護するだろうかと自問自答し…クウを心配して、毎日アレコレとお見舞いをかってくる息子は、私の時にはなにもしないだろうと思いつつ…

こうして、今日もシニアコンビの闘病の一日がすぎっていきます。

2019年4月6日

いっぱいいっぱい愛されて、いっぱいいっぱい笑いを振りまいて
いっぱいいっぱいお仕事もして、ちつともちつともお留守番はしないで
母ちゃんと仲良くケンカしてきたクウれすが…

クウ、お空にいつちゃうことになりました。

5月9日には、

14才の誕生日と社長就任の
Wお祝いする予定でしたが
かなわなくて残念れす。



クウがいなくて、母ちゃんが新

しいお仕事をちゃんとできるかとても心配れす。みなさん、たすけてあげ
てくさいね♡みなさん、いっぱい愛情をくださってありがとれした～♡



2019年4月7日

天使になった 🐶クウの業務日誌♡

4月6日午前3時に

クウは天使になりました。

苦しい息の中、何度も、母ちゃんの顔を
確かめて、トモちゃんが必死にさすってくれる手を感じながら…

夜が明けた頃、いつもマウンティングしていじめていたゴリラちゃんが、いつまでたっても起きないクウを心配して、そばに来てくれました。



2019年4月8日

天使になった社長犬👼クウ
の業務日誌

寝不足と泣き疲れの母ちゃん

ん一家…ちょうど土日でお仕事がお休みなので、みんながクウからはなれず、そばにいてくれます。お友達の方々から、たくさんのお花とお供えなどが次々と届き、感謝感謝で母ちゃん、またまた大泣き



夜には、霊園の防犯部長が、弔問にかけつけました。

この神聖な夜に、相変わらずの防犯部長れす。

みなさんの心優しいコメントに、いまだ涙涙の母ちゃんれす。

クウが代わりにお礼申し上げますれす。

とてもとてもありがたくて、感謝の気持ちでいっぱいれす

2019年4月8日

天使になった社長犬🐶クウの業務日誌💕その3

天使になった日は、朝から雪がチラチラ舞う肌寒い日でしたが、翌日は快晴。みんなでクウをお風呂に入れてくれました。



いつもは「ウーウー」って文句をいったドライバーも、今日はおとなしくかけてもらい、とっても美しくなりました💕

お空に行く前に、クウゆかりの場所に、最後のご挨拶に行ってみます。

長年乗り馴れた母ちゃんの車。

クウ専用の助手席に、今日は、母ちゃんに抱っこされて乗りました♡
この姿、当時の美智子妃殿下が浩宮様を出産し、ご退院されたときの
光景と似てませんか!?

それでは、霊園と、居酒屋さんと、よく遊んだ公園を回ってきまーす♡
2019年4月10日

天使になった社長犬 🐕 クウの業務日誌♡ その4

今年の2月までクウが部長を務めていた霊園に着くと、おじさん達が待
っていてくれました。クウを抱えて、涙をポロポロ流してくれました。

たくさんたくさんの愛情をありがとれした。

今は、まだ雪が残り、わたる風が冷たいこの道。

お客様が来る時期
は、クウは1日に何
度も往復して、ゴミ
ひとつないように厳
しくチェックしていま
した。

え——!?

時々、おちていたウ
ンチはおじさんたち

が拾っていたって!?

だれがしたんれすかね? もしかして…母ちゃん?



2019年4月11日

天使になった社長犬🐶クウの業務日誌♡

まだまだ届く温かなメッセージにご供花に、クウも母ちゃんも感謝の気持ちでいっぱいです♡

さてさて、母ちゃんに抱っこされて母ちゃん車で、最後のお別れドライブをしました。生前のクウは、たくさんの専用車を持っていました！

クウの勇姿をご覧ください♡



みなさんと涙のお別れをしたあと、小さい頃からよく遊んだ公園に、移動火葬車にきていただきました。

ペット霊園でお客様に何度もご紹介した、とても丁寧な業者さんです。
おじさんは、クウを見た途端、涙涙になりました。そしてお空に昇って、遺骨になったクウを、それはそれは丁寧に集めてくれました。
そして、母ちゃんに壺にはいったクウを手渡し、また涙してくれました。
元気だった頃はもちろん、病気になったら病院のみなさん、亡くなったら火葬のおじさんと、関わって下さる方々が最後の最後までみんなみんな優しくクウはとっても幸せでした♡♡
多くの命が、お空にのぼるその時まで
たくさん思いやりのなかにありますように……



ペットメモリアル天使の杜 上川郡東神楽町聖の南 2-1-1-24

2019年4月12日

天使になった社長犬🐶クウの業務日誌♡

「母ちゃん、みんなに悲しみを振りまいてはだめれすよ」とひょうきんだったクウに叱られている気がして、母ちゃんなりに努力した1週間でした。



クウの老化と闘病に寄り添い、看取り、葬送し、供養しているこの一連の出来事に、たくさんのことを学びました。

みなさんがFacebook を通じてかけてくださった温かな言葉、共感の想いに、どれほど慰められたかわかりません。大きな悲しみの中にいる方々に接する仕事をしていながら、私はその方たちの心にきちんと向き合ってきたのだろうか、反省もしました。

天真爛漫、わがまま放題に見えたクウの方が、実は、人の心に寄り添ってきてくれたのかもしれない。

私がクウを幸せにしていると思っていましたが、私がクウに幸せにしてもらっていたのだと、しみじみ感じています。

2019年4月29日

社長犬🐕クウの業務日誌

クウがお空にいて3週間。

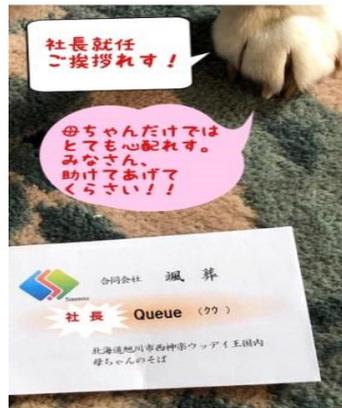
今だ泣き虫の母ちゃんですが、新しい会社も動き出さなくてはなりません。

今日は、西神楽作業場へ。車窓から見える大雪山連峰があまりに美しく、

「クウとこの景色を眺めながら出勤する予定だったのに…」

と涙と鼻水の母ちゃん。

みなさん、頼りない母ちゃんをよろしく
お願いするれーす♡



2019年4月20日



北海道新聞の母ちゃんの終活セミナー「粉骨し収納 故人を身近に」



本型のケースの中に
真空パックのご遺骨



作家の永六輔さんは、生前に娘さんに「僕が骨壺に入ったら昌子(亡妻)の骨壺の間に本を並べてブックエンドにしてね」といていたそうです。少し前なら、突拍子もない希望でしたが、いまではそれも簡単に叶えられるようになりました。

問い合わせを下さった、奥様をなくされた男性は
電話口で泣いていらっしゃいました…

2019年5月1日

社長犬 🐕 クウの業務日誌 ♡

クウ地方、ようやく桜が咲きました。

去年のこと。地面に垂れた細い枝にまで花が咲き誇っている桜の木を見つけた母ちゃん。これなら、クウも間近でお花見ができると、連れて行ってくれました。そして写真をいっぱい撮りました。

まさか、その写真がクウの遺影になるとは思いもしませんでした。

来年もまた、この桜の下で、クウとお花見ができると思っていました。

2019年の桜

去年と同じように

美しい…

去年はここに

クウがいたのに…



何気ない日常、

ささやかなイベント、交わされる想いや会話…

続くと思っていた日々の営みなのに、ある時、それが最後になるとあると、思い知らされました。



去年、哲学者のようなまなざしで写真に収まったクウは、なんとなく、来年はここには来れないことを感じていました。だから、母ちゃんに抱っこされて見た満開の桜の美しさを、忘れないように、いっぱいいっぱい目と心にやきつけたれす。

お友達の皆さん、みなさんの大切な命との穏やかな日々が、続きますようにお祈りします。

2019年5月6日

社長犬 🐕 クウの業務日誌 ♡ 大型連休編

6日はおじいちゃんとおばあちゃん、双方のお母さんの命日です。

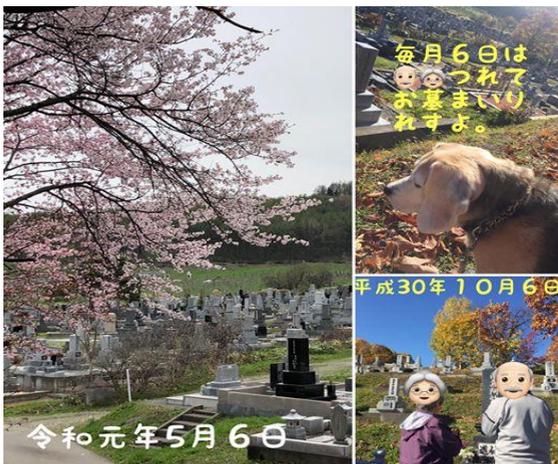
クウ地方は積雪のため11月～4月はお墓まいりができません。

今年は、今日5月6日が、今年初めてのお墓まいりになりました。

「去年はクウちゃんも
来れたのにね…クウ
ちゃんも6日が命日
になってしまったよ」

お母さんのお墓にそう
報告して、おじいちゃ
んは涙ぐみました。

おじいちゃんのお母さ
んが亡くなったのは
57年前のことです。



2019年5月7日

社長犬 🐕 クウの業務日誌 ♡

4月6日にお空に行っちゃってから、昨日で1
カ月経ちました。

「死んだら、ただのモノだから！」墓地のお客
様がそうおっしゃったことがあります。実際に
そうなのかもしれません。



母ちゃんだって、死んだらどうなるかなんてわかりません。クウがいま、どこにいるのかもわかりません。でも、モノであろうが、何であろうが、クウのお骨も、ただただ愛しくて愛しくて・・・

遺骨がこんなに愛おしいことを初めて知りました。

2019年5月9日

社長犬 🐕 クウの業務日誌 ♡

今日、5月9日に、

14才の誕生日&社長就任祝いをするはずだったクウれすが、しくじっちゃったれす。

社長空席となった新会社れすが、部下の皆さんによって、会社は少しずつ、整ってきました。

去年の晩秋に社屋を点検したときのこと、思い出されます。

あのときはほんのり雪景色でした。

昨日、5月6日には桜が咲きました。

窓から見る景色は絵のようです。

母ちゃんがここで頑張って、たくさんの人に喜んでもらえるようなお仕事ができますように。



2019年5月9日

社長犬 🐶 クウの業務日誌 ♡

昨日は本来ならクウの14才のお誕生日でした♡

去年は母ちゃんのセンスのなさに呆れた誕生日でしたが、あれもまた、クウと母ちゃんらしかったと楽しく思い出しています。



13回のお誕生日、
すべてが懐かしいです

2019年5月11日

クウは今、とても親切で優しく火葬業者さんが入れてくれた骨壺の中にいます。女の子だからと、可愛いピンクのカバーをかけてくれました。ゴリちゃんがしっかり守ってくれています。

この先、どんなお家に入ってもらおうか…

陶器は硬くて冷たい…布は耐久性がない…

クウは最後、皮膚炎に悩まされたから、ペンキや化学物質を使ってはだめ…肌に優しい無垢の木材がいい。

お骨の全てが入って、クウの顔も見えるものがいい。

いつでも近くにおけるような大きさに。飾り付けが少なくシンプルに。

わがままな母ちゃんの望みを聞いて、

久保木工の社長さんがつくってくれた供養箱♡

木材がエネルギー加工してあって、体に優しく、入れておくと野菜も腐りにくい木材だそうれすよ



家族の気持ちがあつと落ち着いたら
クウはこっちにお引越し。



2019年5月12日

エア社長犬 🐶 クウの業務日誌 ♡

今日、11日は母の日でした！

ともちゃんが、母ちゃんにケーキをプレゼントしました。

母ちゃんが記念写真を撮ろうと準備していたスキに…

「ゴリちゃん、あれはね
とっても甘くておいしいん
れすよ！

クリーム、ちょこっといっ

ちやおう！！

母ちゃんに見つからない
ように頼むれすよ！



2019年5月24日

社長犬 🐶 クウの業務日誌 ♡ 明日でお

空に行ってから四十九日れす。

クウは、泣き虫母ちゃんを見守っている
のれすが、

大変なことを知ってしまったれす



木工場の社長さ

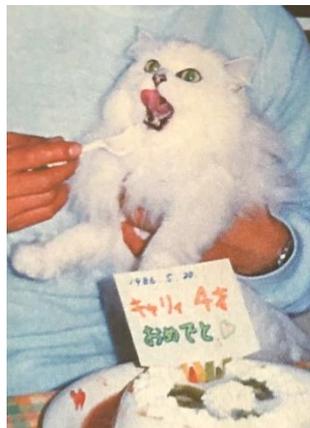
んに頼んで作ってもらった命に優しい木製クウハ
ウスが、もう一つ…

煎餅でも隠しておく気かな～と思っていたら…

20 年前に亡くなったニャンコのお家 ㊦

クウが母ちゃんとこに来た時から、リビングにあった小さい骨壺…

まさか、母ちゃんがニャンコを可愛がっていたなんて！！なんか、腹立つけれど…



いじめられていたところを見かねた人が母ちゃんここにつれてきた保護ニャンコだそうれす。

2019年6月19日

エア社長犬クウの業務日誌 ㊦

今日は思い出話を。

ある日のこと。母ちゃんがお出かけ。クウはキッチンカウンターにあるカゴにはったお菓子が気になってしょうがありませんれした。

イスにあがりテーブルにあがり、とうとうカウンターにあがり、カゴをのぞいたその時 ㊦

かごがクウに襲い掛かり、持ち手がクウの胴体に巻きついたのです！！
どうすることもできません。夕方までこの
そこに、運よくか、運悪くか、母ちゃんが帰宅。

「え〜〜〜クウちゃん、どうしたの?!?!」



怒ってんだか笑ってんだか、わからない母ちゃん。

クウは目を合わせないようにしてました...

2019年6月24日

エア社長犬クウの業務日誌♡

クウは立派な社長を目指し、新聞読んでお勉強も頑張ってきました。さて、社長がいなくなった会社ですがHPができました!!!クウも所々に出演してますので、さがしてくらさーい



ところで「うれしいとメガネが落ちるんですよ」

これが懐かしい人は、還暦過ぎです!!!



2019年7月1日

颯葬社長クウの業務日誌♡

母ちゃんが主権をしている「終活相談ネットワーク北海道」のメンバーは、終活関連資格取得者さんや士業さんが多いですが、異色のメンバーがいます。なんと、手品師!!!老人施設などでボランティアで手品を披露し、とても喜ばれ

ています。リタイヤ後に、特技をボランティアで発揮し、社会貢献するって社貢献する♡すてきな生き方だと思います。

クウも手品をマスターしたれすよ!!!どうぞ、ごらんくらさーい!!!

2019年7月11日

エア社長犬クウの業務日誌♡

母ちゃんが、「供養の形をもっと自由に考えよう♡」というセミナーを開催しました♡

「パウダーにして手元供養するなら、さて、どんな容器にいきますか？」

バブル期に事業で成功を収めた男性は、自分の人生が、1 番華やかなりし頃の思い出の品にしました。

洋酒の瓶です。

同世代なら、懐かしい。

日本がとても元気だった時代を支えてきた自負を感じます♡

公務員として堅実に生きてきた男性は、退職のお祝いに子供達から贈られた



た焼酎の瓶。とっても希少なお品に子供達の感謝の気持ちが詰まっています。

女性は、母の日に次男夫婦から贈られたプリザーブドフラワーに、遺骨を入れるガラス瓶をドッキングさせました。長男家族からの母の日メッセージカードで飾り付け。

「今後、もっといいものをもらったら、作り変えるわ」と笑いました。

姉にお見舞いに贈った鶴のオブジェを選んだ女性。形見になってしまいましたが、仲がよかった姉と天国でまた姉妹として暮らしたい想いを込めました。さてさて、みなさんは…どんな容器を選びますか？

2019年7月15日

社長犬クウ🐶の終活解説♡

「高齢ドライバーの親に、免許返納をどうやって切り出しますか？」

をテーマのセミナー(体験談の交流)をしました。左は、「自分の運転に自信がある人の割合」です。

高齢になるほど運転に自信を持ってしまおうという、心配な結果です。



その上、高齢の親にとって、免許や自動車はステータスとプライドだった時代があったので、免許返納するということは一大事です。かなりの犠牲と覚悟がいることを理解する必要があると感じました。

また、車がないと生活できない環境の場合は、その後のフォローも欠かせません。

🐶 写真をみて下さい♡なんて小さい♡♡前を走っている車や、対向してくる車の中には、こんなに小さな赤ちゃんが乗っているかもしれません。



2019年8月6日

クウ社長の業務日誌♡

下界は暑いそうれすが、皆さん、夏バテしていませんか？

ワンちゃんのお散歩は涼しい時間にしてくださいね🐾

トマト🍅が大好きだったクウにお供えしようと、母ちゃんが5月に植えたトマトが、たわわに実をつけました♡

母ちゃんは、お供えしながら、ちまちまつまんで食べてます。

思い出すのはリサイクルトマト♡

一昨年の夏…霊園の管理事務所のうら。

砂利の上にこっそり捨てたくうのうんち🐾から芽を出したトマトが、たくさん実をつけたんですよね～

みんな笑いこけながら摘み取りましたが、誰も食べようとしません。

クウ🐾と、何も知らずにお弁当に入れられていたともちんの2人で、美味しくいただきました



2019年8月28日

クウ社長の業務日誌♡

🐶九州北部のお友達のみなさん、大雨の被害はないですか？

川のお近くの方は特に、怖い思いをされていることでしょう。被害が少ないように、祈っています



🐶クウは雨が降ると決して外に出たがらず、それでいて、窓から雨の様子をじーっと眺めていました。雨が様々な恩恵をもたらすだけでなく、時として恐ろしい被害ももたらすことがわかっていたかのよう…大雨のニュースに、みなさんの地域での被害が心配です。

天国のクウと共に、みなさんの無事を祈っています🙏

雨の中、お仕事に向かわれる方、救助のお仕事される方々…どうぞ、充分にお気をつけください。

2019年9月5日

クウのお庭に桃の木があります。毎年、沢山の桃🍑が実をつけます。北海道ではとても珍しいことです♡毎年、咲き誇る桃の花の下で、写真を撮ってきました。もちろん、去年も。



母ちゃんは、今年も撮れると、そう思っていました…
別れというのは、突然やってくるものなのねすね。
クウが走り回ることのないお庭に今年も桃がなりました！

2019年9月6日

命は寂しがりや…ひとりぼっちが好きな命などいないと思う…
それにしても、クウはとことん、留守番がきらいでした！！



2019年9月7日

社長犬クウの業務日誌♡

母ちゃんがこっそり「もち麦」を門の上に置いています。

なぜかな～？と見てみると…スズメちゃんが集まってきました。

子スズメ達のお家は、クウのお家の斜め裏宅の換気口にありました。

お隣のおばさんの台所の窓から裏のお家に作ったスズメの巣が、よく見えたそうです。

「いつヒナが生まれるかと毎日、楽しみに見ていたら、4月6日にはじめての子が生まれたんだよね～」

1ヶ月程前に聞いた、隣のおばさんの言葉に母ちゃんウルウル

「4月6日といえば、クウがおメメを閉じた日…

もしやクウの生まれ変わり!?」

それからは、子スズメたちが愛おしくて、ちまちま、門にエサを置いていたようです。

そういえば、墓地のお客様が

「じーちゃん死んでから、仏壇とこにずっとハエがいるんだよね～

私がお参りしたら、離れないのさ。

じーちゃんの生まれ変わりかもしれないから、殺すわけにもいかないよ」



とおっしゃって、わらっていました。

星になって見守ってくれている、風になって自由に舞っている、
生まれ変わって会いに来てくれる…

大切な人を亡くした時、人は自分の心が救われる解釈をして、自分を
慰め、大切な人と心をかよわせようとするのでしょう。

🐶 母ちゃん！もしも、スズメのお宿への招待されたら……
お土産のつづらは小さいのにするれすよ🐶

2019年9月11日|

終活犬 クウの業務日誌♡番外編
千葉の皆さんが停電で、大変苦しい状
況だというニュースをみて心を痛めてい
ます。心からお見舞い申し上げます。

🐶 14年前、ペットショップのケージの隅
っこで震えていたクウを、助け出してくれ
た兄たん♡

一昨日、函館からフェリーで青森へ、
青森から陸路で千葉へ向かいました🐶
きっと今頃は、兄たんが届けた非常用
電源車が停電で苦しんでいる千葉の
方々のお役に立っていることと おもうれす。

北海道生まれで、暑さになれていない兄たんが、停電で猛暑の千葉で、
元気で人助けできるように、クウがお空から見守るれーす♡
どうか皆さんも無事で♡



2019年9月19日

墓地犬クウ🐕の業務日誌♡お彼岸のマメ知識の豆知識

お彼岸にお供えする、「ぼた餅」と「おはぎ」の違いについて👉

両方とも、もち米を蒸して、潰してあんこに包む食べ物です。

春彼岸にお供えするのが、春の花、牡丹のように丸い「牡丹餅→ぼたもち」。

こしあんを使います。冬の間、保存していた小豆は皮が硬くなっているの、皮を取り除いたこしあんにするのです。

秋彼岸にお供えするのが、秋の花、萩のように

小ぶりな「お萩→おはぎ」

秋にとれたてで皮が柔らかいので、そのままつぶあんを使います。

小豆の赤い色が邪気を払うとも言われています。

そして小豆は、栄養面もとても優れた

食品だそうです。



お供えの
おはぎ泥棒

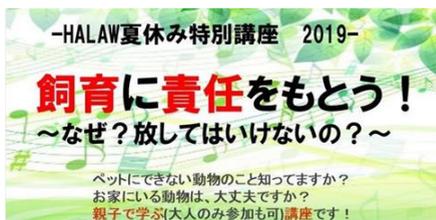
2019年9月27日

終活犬クウ🐶の業務日誌♡

夏休みに子供に向けて開催された講座ですが、動物愛護週間にあわせて、大人もいっしょに考えたいテーマです。

動物を飼う時は、その命の最後まで責任を持つということ。

大きくなったから・・・引っ越しするから・・・お金かかるから・・・



どれも理由になりません。

ペットを飼うのには、
覚悟と準備が必要です!

その点、クウは本当に失敗しました・・・母ちゃんの面倒を最後まで見てあげるはずが、先にお空に来てしまいました

里親大募集!

還暦たぬき

芸はできませんが、トイレのしつけはできています

最後までかわいがってくださる方に!



2019年10月2日

終活犬クウ🐶の業務日誌♡

大雪山系旭岳と黒岳に初冠雪があり、下界でも霜がおりました。

元気になったはずの母ちゃんが、秋の日のつるべ落としと夜の冷え込みに、「クウは明るい所にいるのだろうか」「寒くはないのだろうか」とまた、落ち込んでいました…

しかし、ここ数日は、10月としては記録的な暖かさ。

人間だけでなく、お庭の草木も秋の日差しを楽しんでいます。

クウは前庭の芝生をおちっこ🐶専用トイレ、和室用のお庭をうんち🐶専用トイレに決めていました🐶

この秋、🐶専用トイレに

白い花が咲きました。初めて見るお花です。



🐶クウの家族同様、大切な人を亡くして初めての冬を迎える方々が、たくさんいらっしゃるこれしょう。寒くなると寂しさが募ってきますが、お空は快適ですよ♡

心配なさらず、どうか穏やかな気持ちでお過ごしになれますように🙏

2019年10月12日

社長犬クウの業務日誌♡

クウ地方、秋が深まってきました。

春には桜が見えたクウハウスの窓から、真っ赤なナナカマドの実が見えます。ナナカマドは旭川の木です。

クウの足元の真っ赤な葉っぱもナナカマドです

その名前の由来は

「7回かまどで焼いてもえないから」とも「7日間焼いて炭にするから」とも言われています。

🐶 可愛い実ですが、たいへん苦くて、

人は食べられましえん。冬になるまで、乾燥と凍結を繰り返して熟成し、ようやく、小鳥たちの冬のご飯になるれす♡

餌の少ない真冬に、神様から小鳥たちへのプレゼントれすね

🐶 今朝は穏やかな秋空れすが…本州のみなさん、台風が近づいてきてどんなに不安なことでしょう。どうかどうか、みなさん、無事で🙏

被害がないように祈っています🙏

🐶 どうか、動物たちも避難させてあげて下さいねみなさんの無事をお空から一生懸命、お祈りします🙏🙏



2019年10月14日 社長犬クウの業務日

前回、千葉の大停電で、クウの兄たんが電源車で救援に向かったことをアップしました。それをFacebook で知った 千葉の方が、お礼に大きな梨と初めて見る生の落花生を送って下さいました。

ありがたすぎて涙が出ました🥹

第2弾ということ
は…また、大きな災害が起きたということで、被害にあわれた方々に、心からお見舞い申し上げます。

🐶クウの兄たんは、またまた千葉に援軍にいきました♡

パパと七五三の

写真を撮ろうと張り切っていた娘 くるみ が、涙ぐんで見送ったそうです。

「くるちゃんも悲しいけど、被災地には、七五三の着物どころか、お家ごと流されてしまった人がいるから我慢しようね。

停電で命の危険にさえさらされている方々もいる。

パパも頑張ってくれるから、くるちゃんも我慢して北海道から応援してあげてね♡…………あーちゃんより(「ば」ばつけない)」



2019年10月22日

社長犬クウの業務日誌♡

クウ地方、快晴です。

大雪山連峰が鮮やかに見えた18日、

クウハウスにお客様が来てくれました♡

北野たけしさんの大ファンの母ちゃんが
大歓迎したのは、つまみ枝豆さん♡

母ちゃんと、手元供養、墓じまいのお話が弾みました。



枝豆さんのご実家は静岡。20坪(40畳)の区画に、親族のお墓がいくつも建てられているそうです。

以前、枝豆さんが「こんなデカイ墓地は面倒見られない！！」

といった時、親戚の叔父さまが「ここに眠るご先祖様の誰か1人でも欠けたら、今のお前はいないんだよ」とおっしゃったそうです。

とは言え、奥様の江口ともみさんとの間にはお子さんがなく、「結局は、墓じまいを考えなくてはならないのだけど」と仰いました。

40畳もの広さの由緒正しい先祖代々のお墓を守っていただけますように🙏
枝豆さんも、そう思っておいででしょう。

2019年10月26日

社長犬 🐶 クウの業務日誌 ♡

どうしてこんなに次々と災害が襲うのでしょうか。

被災されている方々の辛い状況を思うと、おかけする言葉もありません。

今の悲惨な状況はもちろん、今後の復旧の道のりもどれほど険しいこと

か。水害で湿った家具などにカビが生えるのも、また、汚泥が乾燥して

不衛生な埃が舞うのも、とても健康を害することでしょう。

一日も早い復興を祈ります。

🐶 自分にできることは何れしょう？

まずは、食料を集めてお届けしましょうか？クウもがんばるれすよ〜!!

🐶 クウちゃん、きもちはわかるけど、歯型のついた長芋は、どうかな〜



2019年11月3日 社長犬🐶クウの業務日誌♡

親が亡くなった後、実家を片付けるのが大変だということが話題になり、数年前には「断捨離」が流行語にもなりました。

今や、終活でやるべきことの上に挙げられるようになった生前整理。また、終活に関係なく、物を整理すると、生き方までも変わる！と「整理収納アドバイザー」などの資格も生まれました。

みなさんは、生前整理、やっていますか？

洋服は、夏冬物の入れ替えの時に、思い切って整理するのがよさそうです。無理無駄なく、すっきりした生活を心がけましょう♡

🐶母ちゃん、そんなえらそーなこと、言っていないれすかね～
クウは発見しました！！

母ちゃんが、夏冬物の交換をしたクローゼットの中…………

着られる服より、「痩せたら着る服」の方がおおかつた～～～！

🐶さて、みなしゃん！

クウの晩年しかご存知ない方々は、ふつくらした姿を記憶に留めていらっしやと思います。クウだって昔は、ほっそりしてました！！

その頃はお洋服も着てました！！

きつくなったから、お洋服が嫌いになったれすよ



2019年11月6日

10月は人生100年時代の夫婦の在り方



平均寿命の伸びに合わせ、老後の暮らし方にも変化が求められます。夫婦のありかたもその一つです。

平成28年度の全体の離婚件数に占める熟年の離婚率は17%で、昭和60年と比べるとほぼ2倍になっています。確かに、結婚適齢期から平均寿命までの期間が60年にもなるのですから、死ぬまで添い遂げるのはたやすいことではなくなりました。

一昔前は、夫が外で働き妻が専業主婦というのが一般的で、定年後は夫婦でフルムーン旅行という夢がありましたし、悠々自適の生活十年ほどと考えられていました。

今や定年を迎えてからの人生が、30年ある時代です。夫は再雇用や再就職をし、妻もパートを続ける家庭が多くなり、表面的には大きな変化がなくなりました。しかし、夫が収入も減ったが責任も減り、肩の荷を下ろしほっとしたのと同様に、妻も家事の負担から解放され、もっと自由に暮らしたいと思っているのです。

そして再就職も終わると、夫婦は新たな局面を迎えます。完全にタイヤ後を明るく捉えている夫と、憂鬱になる妻。

四六時中一緒にいることになった妻が体の不調を訴える「夫原病」なる言葉も生まれました。

リタイヤ後の夫婦は、どうも男性の方が分が悪く、平和な家庭を続けるには、夫が「一家の主」気分を捨て「同居人」に転落する覚悟が必要のようです。ならばいつそのこと「かけがえのない同居人」に華麗に変身を遂げ、バラ色の老後を目指してみませんか。

毎週水曜日を「外食の日」と決めている夫婦がいます。見れば相手の食事が気になるし、作れば台所が汚れるので、自炊もコンビニ弁当の持ち込みも禁止という徹底ぶりで、家事休業と個食の日を作っています。

長く働き続けたいと思う高齢者が増え、高齢者の求人も増えました。週に何日かのパートは生きがいと収入が得られ一石二鳥ですが、その生活を成功させるコツは、夫と妻が別の曜日に働くことです。家事は休みの人が全て引き受けます。そして、一日は一緒にの休みを設けて共に過ごします。少し豪華な外食や映画など、おのおのが得た収入を小遣いとしてワリカンで楽しみます。もう一日の休みは、それぞれ自由に過ごします。

熟年夫婦円満のカギは「対等・自立・距離感」といえそうです。その中で、一人暮らしになったときの練習もしつつ、人生百年をできる限りイキイキと生き抜きましょう！

女性の共感の声が多数。
「夫は読まないふりをしていました」
というコメントも寄せられました。



2019年11月10日

旭川、とうとう雪です。クウが生前、せっせと肥料を散布して管理していたお庭の芝生もうっすら雪化粧。



クウ地方よりははるかに暖かいとはいえ、それでも冬に向かう時期を迎え

秋の台風の被害にあわれた皆さんが心配です。

屋根にブルーシートをかけてしのいでいたお家の修理は？

家財道具が浸水したお宅は？

作物が壊滅的被害をうけた農家の方々は？

すでにインフルエンザも流行とか。日本中のみなさん、どうぞお体に気をつけてお過ごしください

2019年11月12日

社長犬🐕クウの業務日誌📖古い写真が出てきました。

みなさんお馴染みのクウのリサイクル

トマト初代です

- ①トマトが実る🍅
- ②クウ🐕が食べる
- ③ウンチをする
- ④芽がでる🌱
- ①トマトが実る🍅





今年2〜3月に、二階ベランダでうんちをして、そのうんちは雪とともに裏庭に捨てられ、そのうんちに入っていた、トマトのタネが健気に芽を出しました。日陰なので大きくならず、とうとう秋。

母ちゃんが鉢に植え替えて、お家に入れました。

留守番が大嫌いだっただク

ウの定位置に、クウのトマトが座っています。

1993年に白血病で、わずか7才で亡くなった光佑くんのにニュースを思い出します。

光佑くんは3ヶ月だけしか通えなかった学校で、アサガオの種を育てました。光佑くんが亡くなった後、お母さんが引き続いて育て、その種は全国の小中学校に配られました。「骨髄バンク」を沢山のの人に知ってもらうためです。光佑くんが亡くなってから、もう30年近くになります。何代にも渡りたくさんの花をさかせたことでしょう。

 白血病の治療は進んだことでしょう。骨髄バンクの協力者はふえたかな…どうか、たくさんの方々の協力者がありますように。

どうか、病に苦しんでいる人が救われますように

2019年11月22日

11月22日はいい夫婦の日



夫を亡くされた70代の女性A さんからのご相談をお受けしました。仏壇下段の奥に置いてあるある夫の遺骨を、孫にも怖がられない形にして、ずっと側に置いておきたいというご希望でした。「目覚めるなり崩れ落ちるように倒れて、救急車の到着さえ間に合わなかった」と話す声から、急病で夫を失って1年たった今も深い悲しみの中にあることが伝わってきます。

後日、きれいに整えたご遺骨を匠が創った木箱におさめ、手作りのハーバリウムの小瓶と、お気に入りの写真で飾りました。A さんはそれを仏壇の中央に置き、「これでいつでも、顔を見ながら話しかけられるわ」と微笑みました。夫婦は紙切れ1枚で他人に戻るものでもあるけれど、亡くなっても変わらぬ愛情で結ばれた夫婦もあることを痛感しました。先月この欄に、長い老後を夫婦円満に暮らすには夫の意識改革が必要だ、と書きました。しかし実は、以前は熟年離婚の8割が妻からの申し出だった傾向が変化し、近年は夫から切り出す割合が高くなってきているそうです。

20年以上ある定年後の人生は、男性にとっても「余生」ではありません。「40年近く働き家族を養ってのだから、60～80代は自分らしく自由に生きたい」と考える男性が増えたことが背景の一つと言われています。しかし

現実的には、熟年離婚は貧乏をシェアするだけとの指摘もあり、高齢の一人暮らしは健康の不安も高まります。バラ色の再スタートになるのは稀なケースと言えそうです。

11月22日は「いい夫婦の日」です。旧通商産業省管轄の財団法人余暇開発センターが提唱した政府お墨付きの記念日です。

この「いい夫婦の日」に、これからの生活のことを話し合ってみるのはどうでしょう。

「5年後はどうしているか」を考えると、「娘の大学でお金がかかりそう」「親の介護が始まるかも」などが思い浮かび、備えておくことが見えてきます。50代なら「定年後の暮らし方」「退職金の使い方」もいいでしょう。シルバー世代なら「金婚式にしたいこと」などの楽しみから、「運転はいつまで」「老後はどこに住むか」「延命治療はどうするか」など真剣な終活の話題もお勧めです。

遺影にしてもいいように、夫婦でおしゃれをして写真を撮り、外出するのはいかがですか。毎年毎年、写真が増えていくのも楽しいでしょう。老後が長いか短いかは、誰にもわかりません。いい夫婦の日に楽しい終活を試してみませんか。



2019年11月25日

エア社長犬🐕クウの業務日誌🐶クウが社長の会社 颯葬は
SDGs×北海道 に協賛しています。

道北から世界へ発信

道北企業のAction

近年、急増している「墓じまい」ですが、それは、大切なものの破壊と廃棄にほかなりません。墓じまいで空き区画が増えると、地盤が脆弱になり災害に弱くなるだけでなく、墓地全体があれてしまいます。すでにお墓がある場合は、墓じまいを急ぐのではなく、守り続ける方法を考えませんか？墓じまい以外の方法を提案して、環境を守る活動をしております。また、墓を継承できない場合は、事情に合わせた新しい供養のカタチを提案しております。今後も社会の変化に伴い、ますます変わっていくであろう埋葬・供養のカタチ。当社では北海道の自然を最大限に生かし、北海道の資源を大切にしたい、持続可能な埋葬・供養のカタチを発信していきます。

合同会社 颯葬

旭川市神楽岡2番5丁目5-5
【展示場】旭川市西神楽1番24号
アツギアサヒビル内

故人への想いを込めた納骨
〜ナチユール〜

近年、急増している墓じまいですが、それは、大切なものの破壊と廃棄にほかなりません。墓じまいで空き区画が増えると、地盤が脆弱になり災害に弱くなるだけでなく、墓地全体があれてしまいます。すでにお墓がある場合は、墓じまいを急ぐのではなく、守り続ける方法を考えませんか？墓じまい以外の方法を提案して、環境を守る活動をしております。また、墓を継承できない場合は、事情に合わせた新しい供養のカタチを提案しております。今後も社会の変化に伴い、ますます変わっていくであろうお埋葬・供養のカタチ。当社では北海道の自然を最大限に生かし、北海道の資源を大切にしたい、地蔵可能な葬・供養のカタチを発信していきます。

2019年11月27日

エア社長犬🐶クウの業務日誌🍷

今日のお客様。

クウ社オリジナルの手元供養ナチュラルに、ふと目を止めて「これは？……」

「生まれてこれなかった赤ちゃんのための納骨箱です。」

母ちゃんがそう答えると、そのお客様の目が、すこし目を潤みました。

「実は…今年の6月に妻が流産しまして…」

母ちゃんは、以前、グリーフケアの勉強会に参加した時、流産や死産を経験された女性から、お話をお聴きしたことがありました。

医師に頼んで、会わせてもらった亡き骸が、わずか10センチ足らずの赤ちゃんだったと、声を詰まらせた方がいらっしゃいました。

そのお母さんは、小さな小さな我が子に合わせた産着を作ることで、すこしずつ悲しみを埋めていったとおっしゃいました。

そのお話を思い出して、母ちゃんは、生まれてこれなかった小さな小さな赤ちゃんのための納骨箱を創ったのでした。

「こんな方法があったのですね。6月にわかっていれば…もっと広めてください」 若いお父さんはそうおっしゃいました……



2019年11月28日

地元のケーブルテレビが「わがまちの企業」という番組で、取材に来てくれました。

クウも出演したかった…
地元の応援は嬉しいです！



2019年12月2日



母ちゃんの両親は86才。元気で、今はサ高住に住んでいます。

おじいちゃんは、同じマンションのお友達に誘われ、今年からパークゴルフを始めました。先月はお友達たちと一緒に、四国旅行に行ってきました。楽しかったそう

です。そして、おばあちゃんは、お土産を買ってきてくれました!!!
「タオル博物館行ったのよ～。クウちゃんのあったから買ってきたわ!
これ、ビーグルがモデルだったんでしょ！」
昔から天然のおばあちゃん……。母ちゃんが言いました。
「これ、ムーミンだよ。ビーグルがモデルなのは、スヌーピーだから…」

🐶ねえ、クウちゃん、こっち向いて！ と言われたって、むかないれすよ
クウはムーミンじゃないれすから～～!!!

2019年12月4日

社長犬 🐶クウの業務日誌 ♡

あきらめの悪い母ちゃんが、執念で完熟
させたクウ 🐶 のリサイクルトマト 🍅

去年の冬の間に2階のバルコニーでした
ウンチ 🐶 中のトマトの種。

雪とともに裏庭に捨てられていたものが、
芽を出して、日陰だったために生育が遅
れ、ようやく秋に実をつけました。

それを鉢に植え替え室内で育て、
なんとか収穫。



虎は死して皮をとどめ、人は死して名を残す!!!

クウは死してトマト 🍅 を残す ♡

母ちゃんは食べて贅肉をつける!?!



2019年12月18日 エア社長犬🐶クウの業務日誌♡

クウの会社に北海道庁総合政策部さんから突然のお電話。HPを見て、SDG s の啓発イベントの出展をお声かけいただきました。

そして昨日、上川振興局でのSDG s ×道北 のイベントに参加！

環境問題で、グレタさんが怒りの声を上げていますが、大人たちは次世代が安心して育っていける環境を引き継ぐ責任があります。



2020年12月23日

クウの🐶から生まれた最後のリサイクルトマト。

師走の陽射しでも、完熟させることができました。

SDGsですよ♡

タネの部分を取り、瓶に入れて発酵させ、種子を取り出しました♡

春に植えてみます♡



人生100年時代の
親孝行について

2019年12月27日



「親孝行、したいときには親はなし。墓に布団は掛けられぬ」という諺があります。親の気持ちがわかる頃には、親が亡くなっていることを嘆いたものですが、長寿社会になった近年は、親子の在り方にも大きな変化が生じています。

東京都福祉局の16年の調査では、家族と同居しているにもかかわらず孤立状態でなくなった「同居孤独死」は年二千人超。一人暮らしの孤独死3千人に迫る数になっていると言います。考えられる数字です。

昔、息子がいれば老後は安心でした。そう思っていた息子を持つ親が年老いると、娘のほうが安心だと言われる時代になっていました。そうか、娘が頼りになるのかと、娘の親が期待して老後を迎えると、すでに子供が当てにできない風潮になっています。時代はめまぐるしく移り変わり、高齢者がついていくのは至難の業のようです。

親が80代後半になる頃には、子世代も60代で、自身がすでに「祖父母」になっている場合も少なくありません。親や祖父母としての役割も

背負い、定年後も働く必要がある現代では、したくとも親孝行するのは容易いことではなくなってきています。

「母の面倒見てきましたが、独り身の姉のことも頼まれ、70 を過ぎた自分には母が重くなってきました。自分が子供に迷惑掛けないようにと精一杯になのに」というご相談をお受けしました。「困った時々にご相談して、公的や民間のサービスを上手に使いながら乗り切っていきましょう。でも、できる範囲で」とお話ししました。

上手に親孝行を楽しんでいる親子もいます。高校の先生をされている男性は多忙な日々の中、毎月 170 キロ離れた両親のもとへ通い「遠距離介護」を続けています。もっとも「介護」と名付けているのは息子さん。御両親は元気で、畑仕事や庭木の剪定を、85 才の父親も一緒に行きます。10 月の恒例遠距離介護は「にしん漬け」の手伝いでした。仕込みが終わり安堵する 89 才の母と、食べる日を楽しみにしている息子との乾杯が、両親の元気の源かもしれません。

自分を顧みて心を痛める高齢の親を持つ子や、孝行息子を羨ましく思う親もいるでしょう。でも、人生色々、親子も色々。自分達にちょうどいい親孝行をするのが一番です。親孝行も親不孝も、親が生きているうちしかできないことだけは確かです。



生後 60 日のクウ
お兄ちゃんが好きだった
スターウォーズ風の
オムツカバー兼ワンピース

2020年1月12日

エア社長犬 🐶 クウの業務日誌 ♡

みなさん、お正月はどこで過ごしましたか？

🐶 「クウのお家のお正月。ある年から、兄たんの帰省に、優しいお姉ちゃんも一緒にくるようになりました ♡ 兄たんより母ちゃんよりも優しいお姉ちゃんを、クウは大好きになりました。

そのうちに、ちっこい女の子も一緒にくるようになりました。

兄たんが3人家族になったそうれす。

みんなが揃う、賑やかで美味しいお正月は、クウは好きでした ♡

ところが2年前のこと、悪魔が来たれすよ！！男の子ビ 🐱

よちよち歩きの子ビは、テレビのリモコンを持って、クウに襲いかかってきたれすよ！！子ビは叱られてべそかいてました。やーい 🐱

でも、クウはショックでショックで…熱を出したれす 🐱

子ビが帰るまで、家族が交代で、クウを抱っこして守ってくれました ♡ ♡

でも、それも一年かぎり。翌年に来た時は、子ビもききわけよくなり、姉弟で、クウにオヤツをくれたりして仲良くしました。

今年のお正月。今年も、家族9人が揃いました。足りないのはクウだけ。

クウは、お空から見守ってあげましたよ！

クウをいじめた子ビも今となっては愛おしい。

元気で大きく、そして心豊かなに人にそだつのれすよ 🐱

今年のお正月を前に、夫の実家に帰省するのが憂鬱になる妻たちの「帰省ブルー」が話題になりました。帰る方も迎える方も、出費もあり、いろいろと気疲れもあることと思います。でもね、帰るところがあるのも、永遠ではありませんから。

煩わしくおもう日も、一期一会かもしれません。
たくさんの方々が、仲良く幸せでありますように🍀



2020年1月20日

クウがエア社長を務める会社が、全国誌で「地域を支える人」として紹介されました。

このセンチュリーという雑誌、昔は「現代画報」といって、会社や銀行、病院の待合に、必ず置いてありました。

団塊の世代の方々には、とても懐かしい雑誌のようです😊

それにしても、年末に北海道庁から電話をもらったのも驚きだったのに、

大阪の会社から取材のお電話あった時はもっと驚きました。

ネット社会のなせる技！地方での活動も発信できるんですね。

🐶クウがいたら「地域を支える看板犬」として

全国デビューだったのに…残念でした😭



2020年1月15日 大切な形見🐶

リビングのドアの窓には、しょっちゅう、クウの姿がありました。

ある時は、眠くなって、先に部屋に行ったものの寂しくなって

「母ちゃん、来ないの?!」と。

ある時は、寝坊して一番後に起きてきて「おはよ! あけて!!」と。

ある時は、出かける私を見送り、「すぐ帰ってきてよ」とうらめしそうに。

元気な時は、クウが鼻をつけるから体に悪いと、ドアのガラス磨きに洗剤
をしませんでした。亡くなってからは、クウの鼻の跡が残るガラスを拭く
事ができませんでした。

そのガラスは、お正月に襲来した孫たちの手の跡で埋め尽くされました
そこで、ようやく諦めがついて、ガラスを拭きました!



2

2020年1月23日

1月は「墓じまい、
義両親の仏壇じまい、夫の供養」



七十代の女性からのご相談です。「夫が亡くなったが、遺骨は傍に置きたい。義両親の納骨堂は解約し合葬墓にして、家にある仏壇は処分したい。親戚や子どもたちにも納得してもらえる方法はあるでしょうか」

一昔前なら、「夫が亡くなった途端に、義父母を粗末にするなどんでもない」と言われたかもしれません。しかし、少子高齢化が進み、「跡取り」の概念が希薄になる中、供養の形も変わらざるを得ない現実があります。

夫が亡くなり年金が減るので、支出を見直す必要がありました。納骨堂の管理費を払い続ける負担は小さくありません。亡き夫に代わって、父母の年忌法要をしていく自信もありませんし、子どもに負担はかけられません。自分がしっかりしているうちに、仏壇もお焚き上げて、供養に区切りをつけなければと考えるのは無理もありません。

亡夫には姉がいて、義両親の弟妹も健在です。義父母の遺骨をおさめる合葬墓は、道内には数少ない室内合葬墓に決めました。寺院管理で年中無休。さらに月一回の供養があることも決め手になりました。親戚がいつでも自由にお参りができて、安心してもらえる事を大切にしたいと考えたのです。

合葬墓は、納骨堂に比べ、費用が安く、友人知人が自由にお参りができるというメリットがあります。しかし、多くの合葬墓は野外にあり、北海道の場合、野外では冬期間にお参りや納骨ができないデメリットもあります。

夫の遺骨はきれいにパッケージし、小さな納骨壇におさめました。それはいつか、老人施設に行くときも持っていく事ができます。

さきの室内合葬墓には、遺骨を棚に安置できる契約もあるので、夫の遺骨を管理できなくなった時にはそれにしよう決めました。自分が亡くなった時に一緒に合葬墓に埋葬する事に、子ども達の賛成も得ました。

夫の納骨壇は仏間ではなく、棚の上でもなく、リビングテーブルに置きました。食事をする時も、コーヒータイムも一緒です。

「こんなに近くに置いても全く違和感がありません。

毎日話しかけています」と笑顔。

お正月に子ども家族が集まった時も、

一緒にお節を囲んだそうです。

終活は「終わらせるための活動」

ではありません。

憂いを解決し、穏やかに軽やかに

生活するための取り組みです。



2020年1月28日

エア社長犬 🐶 クウの業務日誌 ♡

クウ地方、今朝の気温は-20℃！

クウが部長だった霊園近辺は-27℃！！

こんなしばれる(クウは道産子れすよ)朝、クウ専用お庭に、足跡が！！

誰かな～？！ワンコじゃないですね…キタキツネさんかな？！

足は冷たくないれすか？食べ物はあるれすか？

寝床は凍れていませんか？

クウが小さかった頃、兄さんと、南極タロジロごっこで遊んだお庭です 😊



2020年2月19日

2年間の連載

最後のコラムは墓じまい



春の彼岸が近づき雪解けが始まると、お墓が気になりだし、墓じまいの相談が増えます。

妻の実家の墓じまいに悩むご夫妻がいました。「父母が眠る墓を壊し、合同墓に入れるのは心が痛い。墓を守りたかったが、自分も高齢。元氣なうちに片を付けて安心したい」と、気持ちが揺れ動いての相談です。墓じまいの相談の中には、墓を維持できる方法が考えられる場合がありますが、札幌在住のこのご夫妻のケースは、親族はすでに無く、墓も遠く、墓じまいが致し方ない状況でした。

そこで、墓の面影を残した形で自宅で納骨供養し、自分が亡くなってから合同墓に移してはどうかと提案しました。墓の写真付きの納骨箱の見本を見て、こんな方法があったのかと驚いた様子で、すぐにそれに決めました。いずれ納骨する合同墓は夏の間に見学して決め、予め契約することに。墓じまいは業者を選んで、秋までにすることになりました。

墓じまいの業者選びも迷っていました。4社から相見積もりを取りましたが、料金も作業名も様々で、基準がわかりません。墓の撤去工事料金は、墓石の大きさ、基礎の深さや広さ、重機が入るかの立地条件、処分場までの距離などで違い、素人には難しいものです。

また、ニュースで見た「不法投棄」を心配していました。廃棄物になってしまうとはいえ、大切な墓ですから、取り壊した墓石やガレキの行方も重要です。北海道の多くの業者はきちんとした仕事をしていますが、ご本人の不安は理解できるので、見積書を精査し、処分先を確認することにしました。

墓じまいした業者に、遺骨を合同墓へ届けてもらうこともできますが、その時の遺骨の取り扱いも様々です。自らが手縫いした晒の袋に入れて運ぶ業者に感心した事がありますが、中には取り出したままの状態でレジ袋に入った遺骨もありました。そこも確認しておくで安心です。

このように、終活の情報は溢れているのに、いざ、実行しようとしたら「実は内容がよくわからない」「希望に合うものがない」「予想と実際が違う」と戸惑う方が多くいます。一生に一度しか経験しないことが多いので当然です。

私たち終活相談を受ける側は、

既存のサービスに解決方法を探るだけでなく、より相談者の希望に添う形にできないかを事業者も交えて共に考える必要があると思っています。

様々な情報や相談窓口を上手に利用してご自分やご親族の終活に役立てていただけると、幸いです



2020年2月2日

母ちゃんの独り言

去年の春、年老いてくウちゃんの体調に合わせた生活にしたい、そして、もっともと一緒にいようと思って社長になってもらったのにクウちゃん、いなくなっちゃった…

これまでも、たくさんの別れがあったけれど、クウちゃんは特別だった。悲しみに同じものはないことも、思い出がこんなに愛しいことも、遺骨がこれほど手放せないことも、クウちゃんに教えてもらった。

クウちゃんが遺してくれたものは母ちゃんの宝物。失った辛さも、後悔も、楽しい思い出も。何より、クウちゃんのおかげで、たくさんのお友達との出会いがありました。感謝しかないよ、クウちゃん。



それにしても、
見事に留守番できない
番犬だったね!

2020年(令和2年)2月22日 エア社長クウの業務日誌♡

にゃんにゃんの日

くうはワンコはもちろん、ニャンコも嫌いですが、今日は記念すべき「2」が
いっぱいニャンコの日。ニャンちゃんの納骨箱をつくりました！！

母ちゃんはもともと、「ご遺骨と会話ができるようになった♡」とかいう
マニアックな人でした。それが、クウがあまりにかわかったので、クウの
お骨も愛しくて、最近のご遺骨愛が、さらにパワーアップしています♡
クウが晩年、免疫不全とか、アレルギー症状で苦しんだので、エネルギー
処理した北海道産木材を使い、化学物質を一切使っていない久保
木工の社長さんが作ったお骨箱に惚れ込みました。母ちゃんが飼って
いた保護ニャンコちゃんの写真と、思い出品に飾り付けた供養箱。



クウが生まれるずつ
と前とはいえ、なん
か 腹立つ～！



なつかしい
おもちゃれす



2020年2月25日





北海道新聞の情報誌さんが、母ちゃんを取材してくれました。この記事が、担当者さんが驚くほど反響があったんれすって！母ちゃんにも直接、たくさんお電話がきて、母ちゃんも驚いていました。

一起業のきっかけは？

今から20年ほど前に上川町の教育委員長をされていた住職さんが、旭川に私費でフリースクールを開設しました。そこでボランティアで講師をした縁で、住職さんがつくった霊園でお手伝いをするようになりました。そこでお客様から終活のご相談をうけることが増え、それに答えるべく勉強をして終活のさまざまな資格を取りました。そして終活の相談窓口をつくりました。

その活動の中で、「墓じまい」の相談が多くなりました。従来の「墓・供養」が負担になるご家族が増えたのです。

その様な時代背景に合わせたお墓の在り方、終活の方法を提案すべく、「合同会社颯葬」を立ち上げました。



—どのような活動をされていますか？

終活のアドバイスはもちろん、「手元供養」という新しい供養のカタチを提案しています手元供養とは、小さな仏壇にご遺骨をおさめ、自宅で供養するというものです。「お墓を守らなければ」という固定観念で悩む方が多いと思いますが、時代に合わせた供養のカタチが必ずあります。お悩みの方は、ぜひ、ご相談してほしいと思います。

—SDGsとはどのようなかわりがありますか？

近年「墓じまい」が急増し、墓地の空き区画が増えています。すると、地盤が脆弱になり災害に弱くなるだけでなく、墓地全体が荒れてしまいます。すでにお墓がある場合は、維持する方法を提案して環境を守ります。墓を継承できない場合は事情に合わせた供養の方法をご提案します。

当社では、北海道の自然を生かし資源を大切に、持続可能な埋葬・供養のカタチを発信することが、SDGsにつながると考えています。

—今後の目標は？

北海道にエリアを絞らず、この活動を全国に広めていきたい気持ちがあります。新しい供養のカタチを、美しい北海道の大地から発信していきます。



